

令和 6 年 度

事 業 報 告 書
決 算 報 告 書

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

目次

第1 事業報告書

1	設立目的及び概況	1
2	役員等の状況	2
3	理事会等の開催	4
4	定款の変更	4
5	職員の状況	5
6	事業の実施状況	6
7	事業報告の附属明細書	6 8

第2 決算報告書

1	貸借対照表	6 9
2	貸借対照表内訳表	7 1
3	正味財産増減計算書	7 2
4	正味財産増減計算書内訳表	7 6
5	財務諸表に対する注記	8 0
6	附属明細書	8 2
7	財産目録	8 3

事業報告書

第1 事業報告書

令和6年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

緑のまちづくりの事業及び公園に関する事業を通して、ゆとりとやすらぎのある緑豊かな都市環境の形成及び市民の心身の健全な発達を図るとともに、生物多様性の保全に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

昭和51年10月1日 財団法人広島市公園協会として設立

平成11年 4月1日 財団法人広島市動物園協会と統合

平成24年 4月1日 公益財団法人へ移行し、公益財団法人広島市みどり生きもの協会に名称変更

イ 基本財産

設立当初、基本財産は1,000万円(全額広島市出資)であったが、平成11年4月1日財団法人広島市動物園協会との統合に伴い、同財団から1,200万円を寄附受領し、また、広島市から9,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、1億1,200万円(うち広島市出資1億円)である。

ウ 実施事業

- (ア) 緑化思想の普及啓発、民有地の緑化等緑のまちづくりの推進
- (イ) 広島市が設置する公園及び公園施設の管理運営及び利用の促進
- (ウ) 広島市が設置する動物公園、植物公園及び昆虫館の管理運営及び利用の促進
- (エ) 生きものに関する調査研究、教育及び普及啓発
- (オ) 前各号に関する附帯事業の運営
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数

理 事 長	1 人
専務理事	1 人
常務理事	1 人
理 事	10 人
監 事	2 人
評 議 員	12 人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏 名	異動内容
令和6年4月1日	理事長	荒瀬 尚美	就任
	専務理事	湯崎 俊彦	就任
令和6年4月19日	理事	中越 信和	死亡
令和6年6月17日	常務理事	阿部 勝彦	重任
令和6年6月17日	監事	田口 依久夫	重任
令和7年3月31日	監事	田口 依久夫	辞任

イ 令和7年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏 名	就任年月日
理事長	荒瀬 尚美	令和6年4月1日
専務理事	湯崎 俊彦	令和6年4月1日
常務理事	阿部 勝彦	令和5年4月1日
理事	金子 和泰	平成31年3月28日
理事	川野 悦生	令和5年6月15日
理事	久保田 祐徳	令和3年4月1日
理事	高橋 博	令和2年9月1日
理事	竹下 俊治	令和元年6月12日
理事	宮崎 智三	平成29年3月28日
理事	山口 富美夫	令和元年6月12日
理事	山口 祐	令和5年3月28日
理事	山田 豊子	令和5年6月15日
理事	渡邊 一雄	平成17年7月1日
監事	神田 敏治	平成19年7月1日
監事	田口 依久夫	令和5年4月1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏 名	異動内容
令和6年6月17日	評議員	大橋 啓一	重任
令和6年6月17日	評議員	尾楠 美代子	重任
令和6年6月17日	評議員	眞宅 成光	退任
令和6年6月17日	評議員	栄谷 洋	就任
令和6年6月17日	評議員	田邊 朋子	重任
令和6年6月17日	評議員	田村 慶一	重任
令和6年6月17日	評議員	富川 久美子	重任
令和6年6月17日	評議員	中島 昌子	重任
令和6年6月17日	評議員	中坪 孝之	重任
令和6年6月17日	評議員	福田 博	重任
令和6年6月17日	評議員	藤井 敏男	重任
令和6年6月17日	評議員	山岡 裕幸	重任
令和6年6月17日	評議員	吉田 幸	重任

イ 令和7年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役職	氏 名	就任年月日
評議員	大橋 啓一	平成28年6月9日
評議員	尾楠 美代子	平成26年3月27日
評議員	栄谷 洋	令和6年6月17日
評議員	田邊 朋子	平成29年6月14日
評議員	田村 慶一	令和3年6月14日
評議員	富川 久美子	平成28年6月9日
評議員	中島 昌子	平成24年4月1日
評議員	中坪 孝之	平成24年4月1日
評議員	福田 博	平成30年6月14日
評議員	藤井 敏男	平成24年4月1日
評議員	山岡 裕幸	平成29年6月14日
評議員	吉田 幸	平成30年6月14日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
令和6年4月1日 (決議の省略)	令和6年度 第1回	1 理事長の選定の決議について 2 専務理事の選定の決議について	選定 選定
令和6年5月27日	令和6年度 第2回	1 令和5年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告及び決算報告について 2 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について 3 令和5年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況及び職員の職務に係る倫理の保持に関して講じた施策に関する報告について	承認 終了 終了
令和6年6月17日 (決議の省略)	令和6年度 第3回	1 常務理事の選定の決議について	選定
令和7年2月25日 (決議の省略)	令和6年度 第4回	1 令和6年度第2回評議員会の招集について	原案可決
令和7年3月27日	令和6年度 第5回	1 令和7年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び収支予算について 2 令和7年度第1回評議員会の招集について 3 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について	承認 原案可決 終了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
令和6年6月17日	令和6年度 第1回	1 評議員の選任の決議について 2 理事の選任の決議について 3 監事の選任の決議について 4 令和5年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告について 5 令和5年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告について	選任 選任 選任 承認 終了
令和7年3月27日	令和6年度 第2回	1 令和7年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び収支予算について (説明事項)	終了

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

5 職員の状況

令和7年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区 分		事 務 職 員						技 術 職 員						技能業務職員	非常勤職員	合 計
		部長級	課長級	課長補佐級	係長級	主事	小計	部長級	課長級	課長補佐級	係長級	技師	小計			
緑化管理部	経営企画課		1	1	2	4	8					3	3	1		12
	昆虫館				1		1	1		1	1	4	7		1	9
動物公園	管 理 課			1	3		4		1	1		4	6	3	19	32
	飼育・展示課					1	1			6	8	17	31	2		34
植物公園	管 理 課		1	1	3	1	6	1		1	1	2	5	1	2	14
	栽培・展示課								1		2	8	11		6	17
合 計			2	3	9	6	20	2	2	9	12	38	63	7	28	118

6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

(1) 公益目的事業

① 緑のまちづくり〔公1事業〕

緑化思想の普及、啓発を図るとともに、市民の自主的な緑化活動を促進し、市民の生活にゆとりと安らぎを与え、健やかで潤いのある緑豊かな住みよいまちづくりを進めるため、次のとおり事業を実施した。

ア 緑化思想の普及啓発

(ア) グリーンフェア



名 称	時 期	場 所	内 容	入場者数
春のグリーンフェア	5月25日 ～5月26日	HIROSHIMA GATE PARK PLAZA	広島市等と実行委員会を組織し、花と緑のワークショップ、花と緑の講習会等の開催を行った。	14,000 人
秋のグリーンフェア	10月26日 ～11月4日	植物公園	広島市等と実行委員会を組織し、見どころめぐりラリーや花と緑の講習会などを行った。	10,256 人

(イ) 広報普及



名 称	時 期	内 容	件 数
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 101,314 件
マスコミによる広報	通 年	新聞社などを通じて、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	10 件

イ 民有地緑化の推進

(ア) 緑化講習会の開催



名 称	時 期	場 所	内 容	参加者数
初夏のハンギングバスケット作り	6月19日	中央公園 ファミリープール	ペンタス、コリウスなどを使用した初夏らしいハンギングバスケット作りを実演指導した。	24 人
クリスマスにぴったりな寄せ植え作り	11月15日	中央公園 ファミリープール	ガーデンシクラメン、ポインセチアなどを使用したクリスマスにぴったりな寄せ植え作りを実演指導した。	29 人
迎春用ハンギングバスケット作り	12月3日	中央公園 ファミリープール	ビオラ、ハボタンなどを使用したハンギングバスケット作りを実演指導した。	24 人

名 称	時 期	場 所	内 容	参加者数
春の息吹を感じる 寄せ植え作り	3月14日	中央公園 ファミリープール	ガーベラ、アリッサムなどを使用した寄せ植え作りを実演指導した。	30人

(イ) 緑のカーテン設置補助金などの交付〔緑化基金事業〕



名 称	時 期	内 容	交付件数等	
			件数	金 額
緑のカーテン設置 補助金の交付	4月1日 ～5月22日	緑のカーテンの設置に要した費用の一部を補助金として交付した。	44件	266,200円
魅せる花づくり 補助金の交付	5月1日 ～6月21日 9月2日 ～10月22日	民有地内で多くの人の目に触れる場所（道路に面した場所）において花づくりを行った費用の一部を補助金として交付した。	81件	608,900円
記念樹の贈呈	10月26日 ～11月4日	誕生、入学・卒業、成人、結婚など人生の記念の節目を迎えた者に記念樹（苗木）を贈呈した。	242件	603,680円

(ウ) 緑化指導者の派遣〔緑化基金事業〕



名 称	時 期	内 容	参加者数等
緑化指導者の派遣	通 年	緑化に精通した専門の指導者を講習会に派遣し、草花の寄せ植え、育て方などを指導した。	開催回数 45回 参加者数 743人

(エ) 出版物の発行〔緑化基金事業〕



名 称	時 期	内 容	発行部数
ハンドブック 「魅せる花、緑のカーテン つくりかたBOOK」	通 年	「緑のカーテン設置補助金」や「魅せる花づくり補助金」の利用促進を図り、広島市の推進する「花と緑の広島づくり」に協力するため、緑のカーテン、花壇等の作り方・楽しみ方をまとめたハンドブックを発行・配布した。	2,500部

ウ 貢献者の表彰〔みどり生きもの協会賞基金事業〕



広島市みどり生きもの協会賞基金の運用益等をもって、次のとおり広島市みどり生きもの協会奨励賞を贈呈した。

<広島市みどり生きもの協会奨励賞>

受 賞 者	対象区分	功 績 概 要
福田観音原福寿会	実 務	親睦を厚くし健康で明るい幸せな町作りに協力の理念のもと、観音原第一公園の花壇を整備するとともに、花の植替え作業を継続して行い、市民に潤いと安らぎの場を与えるなど、広島市の緑化推進事業の発展振興に多大な貢献をした。

② 動物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定管理者として指定（指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日）を受けた広島市安佐動物公園における動物の飼育・展示、収集及び飼育管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れやコンクールその他催し物の開催など各種事業を実施し、動物に関する知識及び動物愛護思想の普及、かん養並びに動物愛好者の育成を図った。

ア 動物の飼育・展示など

(ア) 動物の飼育・展示



〔展示場所等〕 主な展示動物		内 容
〔エントランスゾーン〕	アヌビスヒヒ	身体能力の高いアヌビスヒヒを群れで展示した。また、群れの中での社会性が観察できるよう、職員が開園時間中に餌やりを行った。
	フ ラ ミ ン ゴ	拡張し産卵場を設けた展示エリアにコフラミンゴとオオフラミンゴを分けて展示し繁殖に取り組んだ。
〔アフリカゾーンⅠ〕	サ バ ン ナ ゾ ウ	マルミミゾウとの違いが分かるよう、隣接した場所で雄1頭の展示を行った。
	マ ル ミ ミ ゾ ウ	国内初の繁殖に向けて雌の発情周期に合わせて雄を同居させるなどした結果妊娠に至った。安全な出産に向けて準備を行った。
	ア ミ メ キ リ ン	再整備工事に伴い放飼場を一時的に縮小したため、繁殖制限を目的として雌雄別々の展示を行った。 【再整備工事】 新アミメキリン舎放飼場整備（令和4年度から工事継続）
	グ ラ ン ト シ マ ウ マ	再整備工事に伴い放飼場を一時的に縮小したため、繁殖制限を目的として雌雄別々の展示を行った。 【再整備工事】 新シマウマ舎放飼場整備（令和4年度から工事継続）

〔展示場所等〕 主な展示動物		内 容
〔アフリカゾーンⅡ〕	チー ター	敏捷で迫力ある動きをガラス越しに観察できる展示を行い、引き続き繁殖を目指した。
	クロ サイ	間近まで寄ってくる迫力ある展示を行った。血統問題等を含め、将来に渡り安定的に展示を続けるため、海外から雄を導入することとし、施設改修の準備を行った。
	ミーアキャット	穴掘りの様子や日光を浴びて立つ姿を観察できる群れ展示を行った。
〔サルのなかま〕	チンパンジー	群れ展示を引き続き行うとともに、放飼場内部に設置した立体的な構造のタワーを生かし、身体能力や知能の高さが学べる展示を行った。
	マンドリル	群れ展示を引き続き行うとともに、繊細な個体に対する理解を深める看板設置などを行った。
〔ピーちくパーク〕	ポニー	動物愛護思想の涵養を図るため、動物の温もりを体感できる乗馬体験を行った。
	〔わくわく広場〕 ヤギ、ヒツジ	動物愛護思想の涵養を図るため、家畜と自由にふれあえる広場を提供しふれあい体験を行った。
	〔ふれあいスペース〕 テンジクネズミ、 カイウサギ	動物愛護思想の涵養を図るため、動物の温もりを体感できるふれあい体験を行った。
	〔インコの森〕 大型インコ類	色鮮やかなヒワコンゴウインコ、ルリコンゴウインコ、コンゴウインコなどの大型インコ類の飼育・展示を行った。冬季には全国的な鳥インフルエンザの流行のため、展示を中止した。
	〔ことりの家〕 キンカチョウ、ギニアエボシドリ、 クジャクバトなど	多種の鳥類の繁殖を目指し、展示の充実を図った。冬季には全国的な鳥インフルエンザの流行のため、建物外側から観賞できる展示を行った。
	〔子育ての家〕 オオサンショウウオ、 ハツカネズミ、ヒヨコ	オオサンショウウオの幼生・幼体・成体の展示のほか、ハツカネズミの誕生と成長の過程が観察できる展示を行った。
	フンボルトペンギン	二つのペアによる繁殖を目指し、繁殖技術の向上と群れ展示の充実を図った。
〔はちゅう類館〕	〔1階〕 スローロリス、 コウモリ類など	照明を夜間は明るく昼間は暗く調整して、夜行性動物が活発に動き回る姿を観察できる展示を行った。
	〔2階〕 ニシアフリカコビトワニ、 ヘビ類など	子どもに人気のあるワニやヘビなどの爬虫類のほか、特別天然記念物のオオサンショウウオを屋内展示した。

〔展示場所等〕 主な展示動物		内 容
〔リクガメ広場〕	リ ク ガ メ 類	ハウシャガメのほか、インドホシガメ、ケヅメリクガメ、アルダブラゾウガメなど、大小様々なリクガメ類の展示を行った。
〔アジアの草食動物〕	マ レ ー バ ク	多雨林の環境で生息するマレーバクを展示した。また、繁殖に向けて雌を導入した。
	ブ ラ ッ ク バ ッ ク	半砂漠や乾燥した落葉樹林などに生息するブラックバックを展示した。順調に繁殖し群れ展示を引き続き行った。
〔日本の動物〕	ホ ン ド ギ ツ ネ	身近な動物について学ぶため、広島県内に生息するキツネを展示した。
	ツ キ ノ ワ グ マ	自然と人間の関わりを考えるため、広島県内に生息し当園周辺でもたびたび目撃され身近な動物であるツキノワグマを展示した。
〔大鳥舎〕	サ カ ツ ラ ガ ン、 オ シ ド リ な ど	生息地である湿地や森林の河川に似せた環境で展示を行った。冬季には全国的な鳥インフルエンザの流行のため、通り抜けを中止した。
〔西 園〕	ユ ー ラ シ ア カ ワ ウ ソ	世界に広く分布し系統の異なる中国系とヨーロッパ系の個体を展示した。国内で唯一当園のみが飼育している中国系の繁殖に取り組んだ。
	レ ッ サ ー パ ン ダ	令和3年度に続き、1頭が繁殖し展示した。順調に成長したため次の繁殖に向け他園への移動を検討した。
	ニ ホ ン ノ ウ サ ギ	冬に白化する個体と、白化しない個体を比較展示するなど、ニホンノウサギの生態等について情報発信を行った。
	シ フ ゾ ウ	野生下における絶滅後、動物園での飼育下において種の保存が行われてきた、象徴的で希少な動物である雄1頭を展示した。
	ニ ホ ン カ モ シ カ	貴重な四国産の種を展示した。令和3年度に導入した雌との新たなペアにより、引き続き繁殖に取り組み、展示の充実を図った。

展示場所等] 主な展示動物		内 容
〔肉食動物ゾーン〕	ライオン	強化ガラス（レオガラス）の前で餌やりを行うことなどにより、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。また、「レオガラスお食事タイム」をSDGsにつながる屠体給餌を含む内容として行った。
	アムールトラ	強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。また、高齢の雌個体に配慮した展示を行った。
	アムールヒョウ	強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。国内最高齢の雌の健康状態に配慮した展示を行うとともに、新たな繁殖可能な個体の導入を目指した。

【動物の飼育展示数】

（令和7年3月31日現在）

区 分	種 類	点 数
哺乳類	56 種	532 点
鳥 類	35 種	540 点
爬虫類	31 種	223 点
両生類	5 種	402 点
魚 類	9 種	—
合 計	136 種	1,697 点

(イ) 動物の収集及び飼育管理



名 称	内 容
展示動物の維持及び種の保存	血統や余剰動物の管理を適切に行い、計画的な繁殖、ブリーディングローンなどにより、展示動物を適正に維持するとともに、保護が必要な動物を飼育し、種の保存を図った。
飼 育 下 繁 殖	絶滅危惧種や希少種とされている野生動物の繁殖を飼育下で行った。 【繁殖に成功した動物の一覧】 レッサーパンダ、アヌビスヒヒ、ケープハイラックス、ブラックバック、ルーセットオオコウモリなど
	【マルミミゾウの繁殖】 国内初の出産と子育てに向けてクラウドファンディングにより寄付金を募り、寄付額は目標の900万円を大きく上回る30,905,156円となった。寄付金は次年度に繰り越し、血中ホルモン測定装置、人工哺育に備えるためのゾウ用ミルク等を購入し、安全な出産と健やかな子育てに向けた準備を行う。

名 称		内 容				
ブリーディングローン		所有権を移転することなく、他園と動物の貸出しや借入れを行うことで、効率的かつ効果的に繁殖を行った。 (単位：頭)				
			哺乳類	鳥類	爬虫類	合計
		6 年度 借入	1	1	2	4
		新規 貸出	0	0	0	0
		全体 借入	17	5	4	26
		貸出	42	22	0	64
		6 年度借入：マレーバク（アドベンチャーワールド）、アカコンゴウインコ（東山動物園） 6 年度貸出：なし				
動 物 交 換		余剰動物を他園と交換して、必要な動物を入手し、新しい血統を確保した。 【交換動物】コウノトリ、アメフクラガエル				
血 統 登 録 ・ 血 統 管 理		（公社）日本動物園水族館協会が行う血統登録に参画し、希少種の血統管理の会議に出席するなど国内の希少種保全に協力した。コウノトリの譲渡や、マレーバクの導入を行うなど他園館と協力して希少種の血統管理を行い、血縁の偏りを防いだ。				
動物の飼育管理及び動物福祉の改善		園内で飼育・展示する動物が健康で長生きできるよう飼育管理を行った。また、動物が本来持つ自然で多様な行動を引き出し、日々生き生きと暮らせるよう、展示環境の改善を行った。				
飼 育 管 理		健康状態を良好に保つため、衛生的かつ栄養学的に適切な飼料の配合や給餌、必要に応じた診察や治療、飼育舎の衛生管理を行った。また、冬場に発生する高病原性鳥インフルエンザ対策など、防疫を徹底した。				
環境エンリッチメントの強化		展示動物の福祉向上のため、生息地の自然環境を考慮して、展示場に遊具や渡り木を設置するなど展示環境に工夫を加えた。				
ハズバンダリートレーニングの強化		拘束や麻酔などを行わなくても、健康診断や治療、様々なケアができるようにするため、飼育員の声や笛の音、手の動きなどの合図で特定の姿勢をとらせる訓練を行った。対象動物を広げるなど強化を図り、動物たちの身体的な負担やストレスを軽減した。				

(ウ) 入園料の収受（利用料金制）

【入園状況】

区 分					入 園 者 数	使 用 料	
有 料 入 園 者	個 人		大人	18歳以上65歳未満	510 円	127,359 人	64,953,090 円
				65歳以上	170 円	7,628 人	1,296,760 円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170 円	2,407 人	409,190 円
	年間パスポート	購入	大人	18歳以上65歳未満	1,560 円	4,568 人	7,126,080 円
				65歳以上	510 円	338 人	172,380 円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510 円	10 人	5,100 円
		提示	大人	18歳以上65歳未満	－	16,011 人	－ 円
				65歳以上	－	1,684 人	－ 円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	－	29 人	－ 円
		団 体	大人	18歳以上65歳未満	430 円	5,077 人	2,183,110 円
				65歳以上	130 円	146 人	18,980 円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130 円	1,601 人	208,130 円
	優待割引	大人	18歳以上65歳未満	430 円	306 人	131,580 円	
			65歳以上	130 円	24 人	3,120 円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130 円	1 人	130 円	
小 計					167,189 人	76,507,650 円	
減免等入園者（小・中学生、社会福祉施設、その他）					176,026 人	－ 円	
合 計					343,215 人	76,507,650 円	

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	枚 数 等
「ポニー体験乗馬」ポイントカードの発行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に行う「ポニーの体験乗馬」の参加者に対してポイントカードを発行した。利用回数に応じた特典を設け、リピーターの確保を図った。	3,200 枚
年間パスポートの販売（動物園・植物園・昆虫館共同事業）	通 年	より多くの方に動物公園の魅力に触れる機会を提供するため、植物公園・昆虫館と共通で利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 4,916 枚

名 称	時 期	内 容	枚 数 等
優待利用券の販売	通 年	入園券引換券と飲み物引換券がセットになった優待利用券を主に企業・団体(福利厚生、景品など)に販売し、新たな入園者の獲得に努めた。	販売冊数 大人(65歳未満) 67冊
広島市交通科学館との相互利用促進 ((公財)広島市文化財団共同事業)	通 年	近隣施設の広島市交通科学館と協力して、相手施設の使用済の観覧券又は入園券提示者に団体割引料金を適用し、更なる利用者獲得を図った。	331人
旅行業者と連携した観光客の誘致	通 年	入園者誘致のため、旅行業者が発行するクーポン券利用による入園料の後納の取扱いを行うとともに、当園の広報宣伝を旅行業者に委託した。	1件
アニマルカードの進呈	通 年	天候不順日の来園者を対象に、オリジナルアニマルカードを進呈した。	5,860枚
外国人観光客誘致の促進	通 年	新たな顧客層となる外国人観光客の誘致のため、ホームページの英語版を更新した。また引き続き、観光案内所等を通じて、英語や中国語のリーフレットを配布した。	平和記念公園レストハウス観光案内所、JR広島駅南口観光案内所、広島バスセンター など
休 園 日 の 開 園	4月4日 5月2日 1月2日 3月19日 3月27日	ゴールデンウィークにおける休園日、祝日と重なる場合の前日の振替休園日及び春休みにおける休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	861人 2,612人 2,506人 632人 293人 計6,904人
宮島水族館との連携	7月20日 ～3月31日	宮島水族館と連携したスタンプラリー等を実施し、観光客の増加を図った。	《スタンプラリー参加者》 安佐動物公園 1,486人 宮島水族館 1,382人
夜 間 開 園 (ナイト・サファリ)	8月10日 8月11日 8月17日 8月18日 8月24日 8月25日 8月31日 9月1日	昼間とは異なる動物たちの生態を観察できるよう、園内をライトアップし、動物公園の魅力を向上させ、入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 2,885人 3,813人 4,798人 3,064人 4,153人 2,480人 4,347人 2,727人 計28,267人

名 称	時 期	内 容	枚 数 等
広響夕暮れコンサート	8月24日	広島交響楽団によるコンサートを開催し、利用促進と利用者に対するサービスの向上を図った。	300 人 250 人 計 550 人
安 佐 動 物 公 園 ウオーキング大会 (安佐北区役所共同事業)	10月19日	シニア層を対象に、動物や植物など園内の自然に親しみながら歩く、ウオーキング大会を開催した。	64 人
お 客 様 感 謝 デ ー	1月13日 2月11日	日頃の利用に感謝して、閑散期である冬期の任意の休日2日を入園料無料の日とし、入園者サービスの向上並びに入園者数及び収入(駐車料など)の増加を図った。	2,186 人 2,867 人 計 5,053 人

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。動物の排泄物については、園内で堆肥化した上で、農家に提供した。また、動物舎などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット(外国人向けのものを含む)や園内放送などにより利用案内を行った。
緊 急 時 な どの 対 応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
園 内 情 報 の 提 供	通 年	園内の各所に工夫を凝らした展示解説板やクイズボード等を設置し、動物に関する知識の普及を図った。また、園内イベント情報を掲示し、今日の見どころを紹介した。
スマートフォン等用 ア プ リ の 活 用	通 年	入園者の利便性の向上や動物に関する知識の普及を図るため、スマートフォンやタブレット用のオリジナルアプリを活用した。また園内ガイド機能に加え令和6年度にはクイズラリー機能を追加した。 (ダウンロード数 1,623 件)

(カ) 施設の機能充実

名 称	時 期	内 容
みどり生きものサポーター・ 安佐動物公園募金等による 施 設 の 機 能 充 実	通 年	動物福祉向上のための環境づくりを行うことを目標として、寄付金を募った。寄付金は次年度に繰り越し、施設の機能充実に充てる。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携



名 称	時 期	内 容	回 数 等
日 動 水 の 種 保 存 に 関 する 会 議 へ の 参 加	通 年	(公社)日本動物園水族館協会の種保存に関連した会議(Web 会議含む)に参加し、種保存(繁殖)計画の検討及び調整を行った。	7 回
希 少 動 物 の 保 護	通 年	(公社)日本動物園水族館協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄動物を保護した。	12 点
姉妹動物園との交流	通 年	ホノルル動物園と種の保存を目的とした技術交流等を行い、飼育や繁殖技術の向上を図った。	1 件
日 本 オ オ サ ン シ ョ ウ オ の 会 の 活 動	10 月	第 19 回日本オオサンショウウオの会広島大会を主催する実行委員会の事務局として大会運営に協力した。	1 件

(イ) 生息域内保全



名 称	時 期	内 容	回 数 等
生 息 地 に お け る 絶 滅 危 惧 動 物 の 保 全	通 年	北広島町志路原地区や世羅町小谷の保全団体などとの協働により、オオサンショウウオやナゴヤダルマガエルなど、絶滅に瀕した野生動物の保全活動を行った。また、安佐北高等学校の校舎や広島大学歯学部校舎に生息するオヒキコウモリの個体群の調査を行った。	オオサンショウウオの 野外調査 11 回 ナゴヤダルマガエルの 野外調査 5 回
「 広 島 市 の 生 物 」 改 訂 へ の 協 力	通 年	広島市が行う「広島市の生物」(H12)及び補遺版(H18)の全面改訂に協力した。	会 議 2 件

(ウ) 生息域外保全



名 称	時 期	内 容
生 息 地 以 外 に お け る 絶 滅 危 惧 動 物 の 保 全	通 年	国の特別天然記念物であるオオサンショウウオ、希少種であるオヒキコウモリ、キクガシラコウモリやヤマコウモリの飼育、ハヤブサの飼育下繁殖、繁殖行動の調査などに取り組んだ。また、広島県から保護管理業務を受託したナゴヤダルマガエルの飼育、繁殖及び放流等を行った。

(エ) 動物に関する調査・研究等



名 称	時 期	内 容
動物に関する調査・研究	通 年	園内の動物や県内の野生動物の生態などについて調査・研究を行い、飼育技術の確立や生息域内・域外保全の推進に努めた。 1 将来の展示に向けた調査・研究 〔短期的取り組み〕 ・コビトカバ舎の新設において、動物の生態・行動、飼育方法や、構造に関する専門的な情報を提供するなど広島市に協力した。 〔中・長期的取り組み〕 ・キクガシラコウモリ等小型哺乳類の飼育技術確立のため飼育施設環境整備を行った。 ・園内に生息しているホンダギツネやムササビの行動について随時調査するとともに、入園者の観察に適したポイントについての研究を行った。 2 繁殖に関する調査・研究 ・他園への聞き取り調査等を行い、マルミミゾウ等の繁殖に関する調査・研究を行った。 ・希少種であるオヒキコウモリ、ヤマコウモリ、飼育困難種であるキクガシラコウモリ、ニホンノウサギの繁殖に取り組んだ。
各 種 資 料 の 収 集	通 年	Journal of ZOO and WILDLIFE MEDICINE など動物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、繁殖などの調査・研究に役立てた。
写真・動画などの制作	通 年	飼育動物の生態や飼育業務の様子などを写真・動画等に収録し、飼育技術の向上、継承及び調査・研究に役立てるとともに、市民に情報を提供した。
学会・研究会への参加	通 年	日本野生動物医学会大会、日本哺乳類学会、個体群生態学会、両生爬虫類会議、(公社)日本動物園水族館協会技術者研究会、同中国四国ブロック動物園技術者研究会及び中国四国野生動物医療・看護勉強会などに参加した。
オオサンショウウオの調査研究・成果の公開	通 年	大学・博物館等との共同により、オオサンショウウオの調査研究を推進し、その成果を日本オオサンショウウオの会広島大会(10月19、20日)においてシンポジウム等により市民に公開した。 (参加者374人) 八幡川(広島市佐伯区)における国特別天然記念物のオオサンショウウオと中国原産の外来種の交雑個体の調査に取り組んだ。
研 究 活 動 発 表 会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	2月2日	動物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「マルミミゾウ「メイちゃん」の妊娠とその経過～日本初出産にむけての道のり～」と題して発表した。 (参加数75人)



(オ) 野生動物の救護



名 称	時 期	件 数	等
野 生 動 物 の 救 護	通 年	哺乳類	3 件 3 種 7 点
		鳥 類	12 件 10 種 12 点
		爬虫類	0 件 0 種 0 点
		両生類	0 件 0 種 0 点
		計	15 件 13 種 19 点

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力



名 称	時 期	内 容	件 数 等
動物レクチャー・体験型 環境学習プログラム	通 年	社会人を対象に、動物科学館 2 階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	5 件 239 人
クイズ形式ワーク シートの園内配布	通 年	クイズ形式のワークシートを年齢層別・テーマ別に作成し、園内で配布することにより動物への関心や興味を喚起する機会を提供した。	配布枚数 5,000 枚
ピーちくパークにおける ふれあい指導	通 年	入園者を対象とし動物福祉に配慮した、ポニーの乗馬やテンジクネズミとのふれあい体験の場を提供した。	乗馬 3,881 人 ふれあい 13,179 人
動物クイズラリーの助成	通 年	遠足時に行うクイズラリーの相談を受けるほか、スタンプの貸出しを行った。	23 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習（学芸員実習）、飼育実習、獣医臨床実習を行った。	24 件
講演会・研修会 への講師の派遣	通 年	団体からの要請に基づいて調整し、職員を講師として派遣した。	4 件
教材資料の作製・貸出し	通 年	作製した標本などの教材資料を学校などに貸し出した。	41 件 128 点 利用者 4,332 人

(イ) 学校教育への協力



名 称	時 期	内 容	件 数
出 前 講 座	通 年	小学校・中学校・高等学校などに職員を派遣し、動物の生態などについて講座を行った。	8 件
理 科 教 育 で の 連 携	通 年	講師の派遣、園内における体験学習、情報提供等により、近隣にある日浦小学校の理科教育の実施に協力した。	4 件
教材生物バザールへの参加	5 月	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として動物に関する試料を提供した。	1 件

(ウ) 市民・団体との協働



名 称	時 期	内 容	人 数 等
動物解説ボランティア	通 年	動物解説ボランティアを募集・育成し、園内での動物解説の充実を図った。 (解説ボランティア登録人数51人)	活動延べ人数 241 人
作 業 ボ ラ ン テ ィ ア	通 年	作業ボランティアを募集・育成し、園内の花壇等の植え替えや管理などを行った。 (作業ボランティア登録人数41人)	活動延べ人数 583 人
ボ ラ ン テ ィ ア と の 共 同 イ ベ ン ト	通 年	ボランティア主催のイベント「フェルトでゆきだるま」、「ナイトガイド」、「サバンナまつり」を支援した。また、安佐動物公園主催のイベントへの協力を受けた。	4 件 フェルト 60 人
熊 野 筆 の 筆 つ くり	通 年	当園のノウサギ、フラミンゴ、キツネ、ライオンの毛で作成した筆の提供を受けた。	提供を受けた数 11 本
H a p p y B u s 停 プ ロ ジ ェ ク ト (呉工業高等専門学校)	通 年	公共交通機関利用による来園と近隣団地のバス路線の利用促進を図るため、学生が近隣団地などと連携して進めてきた動物園前バス停のパネルや園内売店前の時刻表等バス情報の更新などを行った。	1 件

名 称	時 期	内 容	人 数 等
大 学 ・ 専 門 学 校 等 と の 協 働	通 年	大学・専門学校等と動物公園との相互協力により共同研究などを行った。	岡山理科大学 2 件 東京海洋大学 1 件 神奈川県立 生命の星・地球博 1 件 京都大学 1 件 岐阜大学 1 件 広島大学 2 件 安田女子大学 1 件 森林総合研究所 1 件 富山大学 1 件 福山大学 1 件 合計 12 件
鹿角ストラップづくり ((公財)広島市文化財団)	4月29日	シカの角を使った縄文風のオリジナルストラップ作りを体験するとともに、市内で発掘された動物に関する出土品を展示した。	イベント参加者数 500 人
みどり生きものきょうしつ (株)広島東洋カープ)	6月4日	マツダスタジアムで動物園等のブースを設置し、応援する機運や生きものへの関心を高める展示を行った。	—
サ ン ち ゃ ん の 一 日 警 察 署 長 (安佐北警察署)	7月7日	夏の交通安全運動に合わせて、安佐動物公園のマスコット「サンちゃん」の着ぐるみが「一日警察署長」として交通安全に関する啓発を行った。	100 人
ドリームナイト・ アット・ザ・ズー (ジブラルタ生命保険(株))	8月3日	障害を持つ子どもやその家族等を夜の動物園に招待した。	参加者数 1,677 人
わくわく安佐動物公園！ 動物と一緒に学ぼう お口の健康！ (サンスター(株))	9月7日	動物の歯や生態に関する〇×クイズ大会、大声コンテストなどを行った。	入園者数 2,413 人 参加者数 1,677 人
特殊詐欺被害防止 キャンペーン (広島市、広島県警察)	9月28日	クイズラリー等を通して、父母や祖父母と一緒に被害防止について考えるイベントを開催した。	クイズラリー参加者数 200 組 入園者数 1,729 人

名 称	時 期	内 容	人 数 等
防災の日関連イベント (中国地方整備局・ 広島市危機管理室・ 安佐北消防署)	9月29日	9月1日の防災の日にちなみ、動物 と気象・防災に関するイベントを開 催した。	入園者数 2,679人
こどもたちと地球を学ぼう in 安佐動物公園“動物 園マスターと学ばい きもの不思議” (RCCテレビ)	10月12日	動物園マスター(マニア)の野崎浩 貴氏による、動物園の楽しみ方講座 や 安佐動物公園に関するクイズ、 動物園職員とのトークセッションな どを行った。	参加者数 96人 (事前申込)
動物園で計量記念日 (広島市計量検査所・ (一社)広島県計量協会・ 広島市計量協会)	10月27日	11月1日の計量記念日にちなみ、 動物の体重や長さなどについてクイ ズを行いながら解説を行った。	イベント参加者数 125人
サンちゃんの一 日消防隊長 (安佐北消防署)	11月9日	秋の全国火災予防運動に合わせて、 安佐動物公園のマスコット「サンち ゃん」の着ぐるみが「一日消防隊 長」として、火災予防に関するパフ ォーマンスを行った。	イベント参加者数 150人
広島市立大学芸術 学部の作品展示 (広島市立大学)	12月21日 ～1月7日	広島市内で唯一芸術学部を有する広 島市立大学の学生の作品発表の場と して、園内の動物を描いた絵画など の作品を展示した。	展示作品数 19点

(エ) 広島動物愛好会の活動



会員内訳(個人会員:124人、家族会員:34家族125人、賛助会員:4社)

名 称	時 期	内 容	人数等
広島動物愛好会例会	4月14日	「新キリン舎・新シマウマ舎につい て」(講話)、園内見学	43人
	6月9日	「園内の自然」(講話)、園内見学	41人
	8月13日	「マレーバクの来園」(講話)、園内 見学	32人
	10月13日	「マルミミゾウの妊娠、レッサーパ ンダの繁殖」(講話)、園内見学	43人
	12月8日	講話「十大ニュース」	45人
	2月9日	「へびのお話」(講話)	32人

名 称	時 期	内 容	人数等
会 誌 の 発 行	年6回	愛好会の活動や動物公園の出来事などを載せた会誌「ズーミング」を発行した。	各回 200 部
す づ く り の 送 付	年4回	動物公園の出来事などを載せた機関紙「すづくり」を会員に送付した。	各回 200 部
自 然 観 察 会	9月14日	「ひろしま市民の里@安佐」内で鳥類や昆虫、植物を観察した。 (場所 広島市安佐北区久地)	13 人
	3月20日	「安佐動物公園」の西園に侵入したツキノワグマの痕跡や野鳥を観察した。(場所 広島市安佐北区安佐町)	15 人

(オ) コンクールその他催し物の開催

a コンクール



名 称	時 期	内 容	点 数
動物作文・詩コンクール	7月1日 ～9月7日	小・中学生を対象に、動物に関する作文・詩を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 495 点 入選 161 点
動 物 画 コ ン ク ー ル	7月1日 ～9月7日	園内の動物や風景を題材とした動物画を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 2,095 点 入選 353 点
安佐南区子ども会連合会 写 生 大 会 (安佐南区子ども会連合会共催)	8月19日	動物を題材とした写生大会を安佐南区子ども会連合会と共催実施し、優秀作品を表彰した。	応募 115 点 入選 55 点
動 物 写 真 コ ン ク ー ル	9月1日 ～11月30日	園内の動物を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募, 入選 282 点 入選 21 点

b 観察会



名 称	時 期	内 容	人 数
ビオトープで生きもの観察	4月14日	園内のビオトープでカエルや昆虫など身近な生き物を観察した。	100 人
ダルマガエル観察会	5月18日	園内において生息域外保全しているダルマガエルを観察した。	100 人

c 動物教室その他催し物



名 称	時 期	内 容	人数等
飼育係とおはなしサタデー	通 年	毎週土曜日に、展示動物の前で飼育係が動物について解説したり、普段は見ることのできない動物舎などを案内したりして、動物園の仕事や動物への理解を深める機会を提供した。	820 人
【ガイドツアー】 「キリン・シマウマ放飼場 を歩いてみよう」	4月6日 4月7日 4月13日 4月14日 4月20日 4月21日 4月27日 4月28日 5月11日 5月12日	令和5年3月に完成したキリン・シマウマ舎内を案内し、動物舎の構造などを解説した。	255 人
動物公園春まつり	4月6日 ～5月26日	春の行楽シーズン中の土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し動物に関する知識の普及と、入園者の増加を図った。	入園者数 79,168 人
飼育の日イベント	4月20日	4月19日の「飼育の日」にちなみ、飼育係の仕事を紹介するパネル展示とトークショーを行った。	入園者数 2,901人
世界ペンギンの日イベント	4月21日	4月25日の「世界ペンギンの日」にちなみ、ペンギンについて解説を行った。	缶バッジ配付数 100 個 参加者数 70 人
世界バクの日イベント	4月27日	4月27日の「世界バクの日」にちなみ、マレーバクについて解説を行った。	缶バッジ配付数 100 個 参加者数 50 人
ヒツジの毛刈り	4月28日	ヒツジの毛刈りを行い、その様子を一般公開した。	午前 150人 午後 150人 計 300 人
スマートフォンアプリ ダウンロード促進イベント	5月3日	オリジナルアプリのダウンロードを促進するため、ダウンロードした来園者に景品を進呈した。	381 人
世界カメの日イベント	5月19日	5月23日の「世界カメの日」にちなみ、リクガメについて解説をした。	缶バッジ配付数 100 個 参加者数 120 人

名 称	時 期	内 容	人 数 等
世界カワウソの日イベント	5月26日	5月の最終水曜日の「世界カワウソの日」にユーラシアカワウソについて解説やパネル展示を行った。	缶バッジ配付数 100個 参加者数 60人
オウム・インコデー	6月15日	6月15日のオウム・インコデーにちなみ、希少動物であるインコについて解説やパネル展示を行った。	缶バッジ配付数 100個 参加者数 80人
世界キリンの日イベント	6月16日	6月21日の「世界キリンの日」にちなみ、アミメキリンについてパネル展示を行った。	缶バッジ配付数 100個 参加者数 80人
動物愛称募集	(募集) 6月29日 ～7月15日 (命名式) 7月27日	6月14日に生まれたヒツジ1頭の愛称を募集した。	投票数 608票
	(募集) 10月5日 ～10月27日 (命名式) 11月3日	6月24日に生まれたレッサーパンダ1頭の愛称を募集した。	投票数 2,740票
どうぶつウンチ研究室	6月30日	様々な動物のウンチを観察し、それぞれの違いや体の仕組みについてパネル展示を行った。	入園者数 302人
動物たちの暑中見舞い	7月21日	夏の風物詩として大暑に、ゾウにスイカを与え、ゾウについての解説を行った。	120人
世界トラの日イベント	7月28日	7月29日の「世界トラの日」にちなんでトラについて解説やパネル展示を行った。(新規事業)	缶バッジ配付数 100個 参加者数 80人
夜の動物園で動物観察 (寄 付 者 対 象)	8月3日	夜の動物園に招待し、動物たちの夜間特有の行動を解説する観察会を行った。	228人
動物公園秋まつり	9月16日 ～11月24日	秋の行楽シーズン中の土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と、入園者の増加を図った。	入園者数 93,598人
動物たちの敬老の日	9月16日	敬老の日に、長寿の動物たちを表彰して入園者とともに祝った。	61人

名 称	時 期	内 容	人数等
レッサーパンダの日イベント	9月21日	9月の第3土曜日の「国際レッサーパンダデー」にレッサーパンダについて解説やパネル展示を行った。	50人
世界サイの日イベント	9月22日	世界サイの日にちなみ、クロサイの生態や野生下でのサイの現状などについて解説やパネル展示を行った。	50人
Z O O トーク (飼育係と動物トーク)	10月14日	飼育の苦労話、動物のこぼれ話からサイエンスに関する話まで幅広い話題について、トークショーを行った。	130人
動物とSDGs のクイズ大会	11月23日	動物とSDGsに関係するクイズ大会を行った。	70人
サンちゃんデー	11月24日	オオサンショウウオについてパネルと生体の展示を行った。	入園者数 2,450人
おとなのための 飼育体験教室	10月5日	野生動物への関心を深めるため、飼育実習と講義を行った。	15人
動物公園冬まつり	12月15日 ～2月28日	冬季の土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と、入園者の増加を図った。	入園者数 42,194人
もうすぐクリスマス 安佐動物公園から プレゼント	12月15日	広島東洋カープの高太一選手を招き、クリスマス前に、安佐動物公園のオリジナルグッズ等のプレゼントが当たる抽選会を開催した。	150人
干支の動物缶バッジを プレゼント	1月2日 1月3日 1月4日	正月に、干支の動物「巳」(み)をデザインした缶バッジを入園者にプレゼントした。	缶バッジ配付数 各日200個
新春動物かるたで 遊ぼうよ!	1月5日	安佐動物公園の展示動物の特徴を紹介したオリジナル動物かるたを使ったかるた取りを開催した。	56人
動物園で どうぶつぬり絵	1月12日	動物の模様などのぬり絵を通じて、動物に関する知識の普及を図った。	102人
動物脱出対策 公開訓練	1月26日	動物が飼育舎や放飼場から脱出した想定により公開訓練を行った。	入園者数 2,647人 見学者数 約100人
まんが動物園	2月1日 ～2月28日	飼育係が動物の特徴や生態などをまんが解説パネルで紹介し、期間満了後ボランティアが英訳したものと併せて展示した。また、SNSで漫画を紹介した。	入園者数 13,899人



名 称	時 期	内 容	人数等
動物まんが クイズラリー	2月9日 2月16日 2月23日	飼育係が描いたまんが解説パネルを題材にしたクイズラリーを開催した。	235人 673人 647人 計 1,555人
【ガイドツアー】 「野生ツキノワグマの 痕跡をめぐり ～アニマルトラック 入門講座～」	1月11日 1月12日 1月18日 1月19日 1月25日 1月26日 2月1日 2月8日 2月9日 2月15日 2月16日 2月23日 3月1日 3月9日 3月22日 3月23日 3月29日 3月30日	クマについての正しい知識を伝えるため、西園に出没したクマが残した痕跡の観察と解説を行った。	151人
親子動物教室	3月8日	親子を対象に、標本や観察を通して動物の生態や暮らしについて学ぶ機会を提供した。	6組 13人
飼育体験教室	3月26日 3月28日	小学校4～6年生を対象に、飼育実習を行い、動物の飼育方法や暮らしについて学ぶ機会を提供した。	14人 13人

d 講演会

名 称	時 期	内 容	人 数
動物講演会 「南極セミナー」	10月26日	熊倉 聡泰氏（第64次南極地域観測隊越冬隊）を招き、南極大陸の自然や動物などについての講演会を開催した。	58人
野生動物シンポジウム 「動物園にやって来た 野生のツキノワグマ」	2月16日	西堀正英氏（広島大学教授）他4名のパネリストによる野生のツキノワグマに関する講演などをシンポジウム形式で開催した。また、西園に出没したクマの痕跡を解説する見学会を開催した。	85人 (シンポジウム) 55人 (見学会 30人)

(カ) 学校教育活動の受入れ



名 称	時 期	内 容	人 数
なかよし動物教室	通 年	生きものへの関心を深めるため、保育園や幼稚園の園児を対象に、親しみやすい動物とのふれあい体験を行った。	49教室 120人
進路総合学習の受入れ	通 年	中学校や高等学校の進路総合学習の一環として職場講話を行った。	90人
動物レクチャー・体験型環境学習プログラム	通 年	小・中・高校生を対象に、動物科学館2階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	幼 2件 96人 小38件 2,891人 中 3件 441人 高 1件 198人 特別5件 127人 計49件 3,753人
職場体験の受入れ	7月3日 ～7月5日	近隣にある日浦中学校の職場体験を受け入れ、指導した。	3人

(キ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
動物写真コンクール 入 賞 作 品 展	4月20日 ～5月26日	前年度の「動物写真コンクール」の入賞作品を展示した。
企画展示「亀」	7月20日 ～10月14日	甲羅という脊椎動物として独特な形態を持つカメの分類や生態、飼育経験から得られた知見、標本による体の構造、カメの登場する童話・寓話の科学的検証など様々な面から紹介することで、カメに関する知識普及を図った。
動物画コンクール 入 賞 作 品 展	11月2日 ～11月24日	「動物画コンクール」の入賞作品を展示した。

(ク) 広報普及



名 称	時 期	内 容	件 数
マスコミによる広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社、旅行ガイド誌社などを通じて、催し物や赤ちゃん誕生などのトピックスを広報した。	広報件数 62件 取材件数 176件 《取材件数の内訳》 テレビ 99件 ラジオ 7件 新聞 59件 その他 11件
催し物案内ポスター・P R 用 チ ラ シ の 配 布	通 年	公共施設、観光事業所、商業施設に、動物園の催し物案内ポスターやP R 用 チ ラ シ を配布した。	4,428か所
動物写真パネルの貸出し	通 年	動物の写真パネルを公共施設や事業所などに貸し出し、これらの場所を動物園のP R の場とした。	8か所 160点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより施設の紹介、催し物、赤ちゃん誕生などの最新情報を提供した。	お知らせ 45件 イベント 62件 ブログ 10件 計 117件
X (旧Twitter) による広報	通 年	情報共有力・拡散力の高いXにより、施設、イベントなどの魅力ある情報を発信した。	投稿件数 754件
Instagramによる広報	通 年	情報共有力・拡散力の高いInstagramにより、施設、イベントなどの魅力ある情報を発信した。	投稿件数 459件
マスコットキャラクターを利用した P R の 実 施	通 年	オオサンショウウオのキャラクターの着ぐるみ「サンちゃん」等を積極的に園内外のイベントに参加させ、動物園のP R 活動を行った。	9件 (園外 4件) (園内 5件)
保 育 園 ・ 幼 稚 園 、 小 学 校 へ の P R	通 年	遠足での利用を促進するため、市立保育園・幼稚園、市立小学校、私立保育園等に対し、ポスター等を送付し動物園のP R 活動を行った。	495件
公民館等利用者へのP R	通 年	公民館を通じて動物園のP R 活動を行い、動物園の利用促進を図った。	1件
公 共 交 通 機 関 利 用 者 へ の P R	通 年	アストラムライン新白島駅構内の掲示板に、安佐動物公園のイベント案内ポスターを掲出した。	5件
海外向け観光ガイドの ホームページへの掲載	通 年	GETHIROSHIMAのホームページを通じて動物園のP R を行った。	1件

(ケ) 出版物の発行



名 称	内 容	発行部数
「す づ く り」 「飼 育 記 録 集」 「年 報」	動物公園のニュース、動物の飼育記録や生態などを紹介した機関紙「すづくり」及び飼育動物の生態に関する研究や飼育技術などについての発表をまとめた「飼育記録集」などを発行、配布し、動物に関する知識の普及や動物園事業の周知を図った。「年報」についてはホームページ上で公開した。また、これまでの「飼育記録集」を J-stage に登録しインターネットで公開した。	すづくり 4 回 計 4,400 部 飼育記録集 260 部

(コ) 動物に関する相談



名 称	時 期	名 称	件 数
動 物 相 談	通 年	動物の飼育方法や野生動物の生態など動物に関する相談等を受けて助言、指導した。	467件

③ 植物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定管理者として指定（指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日）を受けた広島市植物公園における植物の栽培・展示、収集及び栽培管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや講座その他催し物の開催など各種事業を実施し、植物に関する知識及び植物愛好心の普及、かん養並びに植物愛好者の育成を図った。

ア 植物の栽培・展示など

(イ) 植物の栽培・展示



〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔大温室〕 ヤシ、ラン、オーストラリア バオバブ、熱帯果樹など	熱帯の水辺、花、果実などにゾーニングしたエリアに約700種類5,000株の亜熱帯、熱帯植物を植栽し、立体交差や通路から観賞しやすい効果的な展示を行った。最高部が21mある温室の大きさを活かし、巨大な熱帯植物が醸し出す熱帯の雰囲気を感じられる展示を行った。また、シンボルツリーとして導入した国内最大のオーストラリアバオバブを展示した。
〔サボテン温室〕 サボテンなど	サボテン類や多肉植物約330品種500株を科ごとに分け、説明板や写真パネルをつけて展示した。乾燥地に適応した特異な形態や植物の適応戦略の面白さを知ること、生きものに対する興味の高揚を図った。
〔熱帯スイレン温室〕 熱帯スイレンなど	1年を通じ多彩で美しい花を咲かせる約50品種100株の熱帯スイレンを植栽し、エキゾチックな憩いの空間を提供した。また、子どもに人気の高いウツボカズラやハエトリグサなどの食虫植物を、模型や解説パネルを交えて展示し、植物に興味を抱くきっかけ作りの場とした。
〔ベゴニア温室〕 球根ベゴニアなど	冷暖房と電気照明設備を活用し、世界で最も美しい花の一つと言われる球根ベゴニアを周年開花させ、約680品種2000株の様々なベゴニアの展示を行うことで、季節を問わず美しい花を楽しむことのできる癒しの空間を提供した。また、球根ベゴニアの生育過程を解説展示することで、植物を育てることに興味を抱く機会を提供した。

〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔フクシア温室〕 フクシア、野生ランなど	風鈴のようにチャームな花を咲かせるフクシア約140品種230鉢を周年展示し、非日常的な植物の美しさを楽しむ場とした。また、野生ランコーナーでは、解説パネルなどを交えて展示し、ランの不思議な世界を観賞できる機会を提供した。
〔カスケード〕 パンジー、ペチュニアなど	入園口から入って正面の大階段にはプランターやコンテナ、ハンギングバスケットを設置し、季節を代表する草花を展示して来園者を出迎えた。
〔展示温室〕 ゼラニウムなど	植物公園が保有する世界のラン、ゼラニウム、イワタバコの仲間、食虫植物、薬用植物などや、近郊の愛好家が出品するエビネ、セッコク・長生蘭、ウチョウラン、サボテンなど、季節にふさわしい植物を年間18回展示した。
〔芝生広場〕 サクラなど	入園者の憩いの場、語らいの場のほか、子どもの遊び場として利用した。また、周辺にはサクラ類、マンサク、ロウバイ、ツツジなどの花木類を植栽・展示した。
〔花の進化園〕 スイレン科、ユリ科、 キク科、ラン科など	入園者が実物を観察しながら、花の進化について理解を深めることができるよう、種子植物を科ごとにまとめて植栽し、分類や進化の説明をつけて展示した。また、被子植物は最近の主流であるAPG分類体系へ移行し、理解を深める工夫をした。（APGとは、Angiosperm Phylogeny Group（被子植物系統グループ）の略で、葉緑体DNAの解析から植物の類縁関係を決定し分類したものである。）
〔屋外展示場〕 クレマチス、山野草など	愛好家が栽培しているクレマチス、山野草のほか、植物公園が収集したサクラソウ、アジサイ、中国ギクなどを展示した。
〔ロックガーデン〕 うらら池散策路 里山の野草園 セツブンソウ、ヒゴタイ、 ヤチシャジンなど	野生植物の多様な姿や絶滅に瀕している植物を中心に紹介することで、環境保全に対する関心を喚起した。特に、ロックガーデンには、高山や海岸などといった厳しい環境にも生育する種を、うらら池散策路沿いや里山の野草園では、主に広島県内の里山環境に自生する種を紹介した。
〔日本庭園周辺、うらら池湖畔〕 アジサイ	うらら池周辺にアジサイを順次追加植栽し、既存の日本庭園周辺とあわせてアジサイをめぐる回廊をつくり、梅雨頃の魅力アップを図った。
〔バラ園〕 バラ	広島市に寄贈された品種、野生種、オールドローズや古花と呼ばれる希少な園芸品種の植栽展示に力を入れることで他のバラ園との差別化を図り、遺伝資源の保全に貢献した。また、新品種も配置し、バラに包まれたくつろぎの空間を提供するとともに、新設したフェンスに新たにつるバラを誘引するなど、空間を利用したバラ園のさらなる景観向上を行った。



〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔ツバキ園〕 ツバキ など	日本が世界に誇る園芸植物の一つであるツバキを植栽・展示した。周囲には、サザンカ類、ヒメシャラなどの野生種や、タイワンフウ、イロハモミジ、ニッサなど紅葉の美しい樹木を植栽し、秋から冬にかけての見どころとした。
〔日本庭園〕 ウメ、ハナショウブ、 アジサイ など	本格的な茶室を中心に、和風の植物を植栽し、落ち着いた雰囲気にくつろげる空間を提供した。ハナショウブ園では後世に伝えたい古花の展示に努めた。また、最奥部では自生地に近い環境を生かし、ヤマアジサイを展示した。
〔樹林観察園〕 シイ類、ブナ、カエデ類など	西南日本の常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の構成種を植栽し、これらの樹林の環境や樹木を体感し、学習できる場を提供した。
〔森のレストラン前花壇〕 コスモス など	園内で最大の面積を誇る花壇に、春はネモフィラ、夏はヒマワリ、秋はコスモスを植栽し、フォトジェニックな風景を提供した。
〔展示資料館周辺〕	企画展示・講演会等への誘導及び快適な園内散策となるよう、効果的な植栽を行った。
ログガーデン	当園のウエルカムガーデンとして、バラや草花、樹木などが調和するゆったりとした雰囲気の中で散策を楽しんだり、併設のカフェテラスからの眺めを楽しんでいただける空間を提供した。
はなのわ花壇	スイレン温室前の立体花壇を、灌木や多年草、カラーリーフや一年草を混植したイングリッシュガーデンとし、季節ごとに風景が変わる花壇を提供した。（基礎となる植物は、第37回全国都市緑化ひろしまフェアはなのわガーデンから移植（R3年3月）したものである。）

【植物の栽培展示数】

（令和7年3月31日現在）

区 分	種 類	本 数
大 温 室	700 種類	5,000 本
サボテン温室	330 種類	500 本
熱帯スイレン温室	200 種類	750 本
ベゴニア温室	680 種類	2,000 本
フクシア温室	300 種類	420 本
栽培温室	3,900 種類	32,500 本
バラ園	700 種類	1,000 本
ツバキ園	200 種類	600 本
花の進化園、樹林観察園その他	3,100 種類	154,230 本
合 計	10,110 種類	197,000 本

(f) 植物の収集及び栽培管理

名 称	内 容
展示・保存植物の維持・充実	計画的な増殖や種子・種苗の交換などにより、展示植物や保存植物の維持、充実を図った。
栽培下における増殖	希少又は展示上重要な野生植物や園芸品種の増殖を行った。
種子・種苗の交換	国内外の植物園などと種子や種苗を交換し、魅力的な種や貴重な種を導入した。 譲受け : 国外2ヶ国 3施設 14種 国内 19施設 63種 譲渡し : 国内 8施設 53種
種苗の導入	最新の市場動向などを把握することによって、季節ごとに展示する魅力ある植物を導入した。
植物の栽培管理	生育状態を良好に保ち、病虫害被害の発生を未然に防ぐため、品種ごとに灌水、施肥、剪定、温度・湿度の管理、必要に応じた薬剤散布などを適切に行い、栽培環境の向上を図った。



(g) 入園料の収受（利用料金制）

【入園状況】

区 分					入園者数	使用料
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満	510円	42,088人	21,464,880円
			65歳以上	170円	17,704人	3,009,680円
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	627人	106,590円
	年間パスポート	購入	大人 18歳以上 65歳未満	1,560円	2,168人	3,382,080円
			65歳以上	510円	1,502人	766,020円
			小人 18歳未満(小・中学生を除く)	510円	9人	4,590円
		提示	大人 18歳以上 65歳未満	—	7,970人	—円
			65歳以上	—	6,996人	—円
			小人 18歳未満(小・中学生を除く)	—	14人	—円
	団体	大人	18歳以上 65歳未満	430円	1,022人	439,460円
			65歳以上	130円	651人	84,630円
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	7人	910円
	小 計				80,758人	29,258,840円
	減免等入園者（小・中学生、社会福祉施設、その他）				56,298人	—円
	合 計				137,056人	29,258,840円

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	入園者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に植物公園の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・昆虫館と共通して利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 3,679 枚
電動カートの運行	通 年	勾配のある園内や、駐車場から正門前までの移動手段として、電動カートを運行し、入園者サービスの向上を図った。	土・日・祝日 7,019 人 平日 9,637 人 合計 16,656 人
さくらまつり	4月1日 ～4月14日 3月22日 ～3月31日	桜の見頃の時期に合わせ、桜観賞会や写真撮影講習会、コンサートなどのイベントを実施し、入園者の増加を図った。	14,631 人 6,665 人 計 21,296 人
休園日の開園	4月5日 5月2日 11月1日 2月28日 3月28日	さくらまつり、春の特別ラン展期間中などの休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上を図った。	1,013 人 1,529 人 38 人 316 人 201 人 計 3,097 人
夜間開園	4月6日 9月7日 9月14日 9月15日 9月21日 9月22日 11月23日 11月30日 12月7日 12月14日 12月21日 3月29日 3月30日	夜に開花する植物(オオオニバス・サガリバナ・月下美人)、夜に香る植物(夜香木、夜来香)、桜などのライトアップや、キャンドルとイルミネーションを使った幻想的な空間づくり、コンサートなどを行い、植物公園の魅力を向上させた。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 1,470 人 1,117 人 922 人 1,007 人 307 人 781 人 1,242 人 1,388 人 1,677 人 1,685 人 1,191 人 326 人 218 人 計 13,331 人
ネモフィラウイーク	4月20日 ～5月6日	SNS映えするネモフィラを特出しして来園者に季節感を味わっていただくとともに、季節の花の解説などを充実させた。また、森のカフェでバタフライパーティーの提供をするなど植物公園の魅力をアピールした。	14,752 人

名 称	時 期	内 容	入園者数等
みどりの日・植物園の日 記念行事	5月4日	みどりの日と植物園の日を記念し、 花苗のプレゼント、コンサートなど 様々なイベントを実施した。	4,082人
区民ウオーキング大会 (佐伯区役所共同事業)	5月25日	手軽な健康づくりを推進するため、 区民を対象にウオーキング大会を実 施した。	参加者数 220人
アジサイウイーク	5月25日 ～6月30日	アジサイの展示を中心に、花の解説 等を行った。	11,552人
サマーフェア	7月20日 ～9月1日	夏休み期間中を中心に、植物クイズ ラリーや「カブトムシとクワガタム シ」観察会、イベント広場や芝生広 場での散水器具を使用した水遊びを 実施し、入園者の増加を図った。	14,158人
ヒマワリウイーク	7月20日 ～9月1日	SNS映えするヒマワリを特出しし て来園者に季節感を味わっていただ くとともに、季節の花の解説などを 充実させ植物公園の魅力をアピール した。	14,158人
コスモスウイーク	10月26日 ～11月9日	フォトジェニックなコスモスを特出 しし、来園者に季節感を味わってい ただくとともに、季節の花の解説な どを充実させ、コスモスの花みくじ を実施するなど植物公園の魅力をア ピールした。最終日には花の摘み取 りを行った。	12,402人
秋のグリーンフェア	10月26日 ～11月4日	秋のグリーンフェアの会場として利 用するとともに、期間中の入園料を 無料とし、キッチンカーの出店や新 規イベント等による入園者サービス の向上並びに入園者数及び収入（駐 車料など）の増加を図った。街中で 行われる春のグリーンフェアとのコ ンセプトの違いを強調し、緑に囲ま れた園内でより深く緑に親しみ、植 物について多くの学びを得られるイ ベントとして実施した。	10,256人
開園記念日記念行事	11月3日	開園48周年を記念し、花苗のプレ ゼントやコンサート、植物クイズラ リーなど様々なイベントを実施し た。	3,095人
バレンタイン フェスティバル	2月8日 ～2月13日	バレンタインデーにちなみ関連イ ベント（講演会や実演会等）を実施 するとともに、園内を装飾した。	1,392人



名 称	時 期	内 容	入園者数等
春 の 特 別 ラ ン 展	2月22日 ～3月2日	大温室内にランの愛好団体や生産者による展示ブースを設けるとともに、「ランで魅せる色の世界」をテーマとした洋ランの大規模展示を行った。あわせて、筑波実験植物園の遊川知久氏による洋ラン講演会など各種関連イベントを開催した。	7,048人

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	入園者に安全・快適な観覧環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、温室などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で使用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット、園内放送などにより利用案内を行った。
緊 急 時 な ど の 対 応	通 年	傷病者の救護、迷子の搜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
樹 木 ラ ベ ル の 充 実	通 年	樹木ラベルの追加・更新を行った。

(カ) 施設の機能充実

名 称	時 期	内 容
みどり生きものサポーター・植物公園募金等による施設の機能充実	通 年	植物を観察し学習できる場を入園者に提供するため、寄附金を募った。寄附金は次年度以降に繰り越し、全ての世代が植物観賞の合間も楽しく過ごせる環境づくりに充てていく予定である。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	件 数
都 市 に お け る 自 然 環 境 保 全 活 動	通 年	広島市の保存樹・保存樹林指定審査会などに参加し、都市空間における自然環境保護の推進に寄与した。	1 件

名 称	時 期	内 容	件 数
希 少 植 物 の 保 護	通 年	(公社)日本植物園協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄植物を保護した。	41 件 (前年度からの継続含む)
		広島市環境局環境保全課に対し、『恵下埋立地(仮称)希少動植物調査結果報告』に基づく、今後の調査・保全方針について、助言・提言を行った。	1 件

(イ) 生息域内保全



名 称	時 期	内 容	件 数
生 息 地 に お け る 絶滅危惧植物の保全	通 年	世羅町をはじめとする広島県内の自生地において、ヤチシャジン等の絶滅の危機に瀕した植物の調査や保全活動を行った。	12 件
「広島市の生物」 改訂への協力	通 年 (~令和9年度)	広島市が行う「広島市の生物」(H12)及び補遺版(H18)の全面改訂に対し植物の現地調査などにより協力した。	現地調査 28 件

(ウ) 生息域外保全



名 称	時 期	内 容	種 数 等
生息地以外における 絶滅危惧植物の保全	通 年	野生ラン、ヤチシャジン、ネコヤマヒゴタイなど、広島県内産種を中心に、日本の絶滅危惧植物を保全した。また、(公社)日本植物園協会の多様性保全拠点園事業に参加し、植物の多様性の保全に貢献した。	日本産 120 種 ワシントン条約 98 種
園 芸 植 物 遺 伝 子 資 源 の 保 護	通 年	変化アサガオ、サクラソウ、ゼラニウムやバラの古い園芸品種など、保護が必要な園芸植物を栽培・保存した。(公社)日本植物園協会が行うナショナルコレクション検討会に参加し、植物の多様性の保全に貢献した。	66 種 約 400 系統 検討会 1 件

(エ) 植物に関する調査・研究



名 称	時 期	内 容
植物に関する調査・研究	通 年	《植生調査》 主に県内の植物分布などの調査を行い、希少植物や分布上貴重な植物について、自生状況を記録するとともに保護に努めた。
		《成果の公表》 植物に関する調査・研究活動により得られた知見を学会や印刷物により公表した。
各 種 資 料 の 収 集	通 年	植物の標本及び植物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、栽培や調査・研究に役立てた。
植 物 標 本 の 活 用	通 年	広島県内の植物標本庫における相互ネットワークを構築し広島大学などの県内の標本庫と情報交換を行った。
研 究 活 動 発 表 会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	2月2日	栽培展示活動や調査研究活動などの成果を市民に情報提供した。当園はバラの品種保存についてを演題に発表した。(参加者75人)



ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力



名 称	時 期	内 容	件 数 等
講 習 会 ・ 研 修 会 な ど の 開 催	通 年	団体の要請に基づいて、随時、植物公園で講習会・研修会などを開催した。	園内 4 件
出前講座等講師派遣	通 年	団体の要請に基づいて、随時、公民館、学校等を対象に園外に出向き、講演や講習会などを開催した。	園外 17 件
実 習 生 の 受 入 れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習（学芸員実習）、就業体験（インターンシップ）を行った。	6 件 6 人
森の幼稚園を活用した 保 育 者 指 導	6月2日 10月13日	幼児教育の専門家を招き、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	10 組 28 人 6 組 17 人

(イ) 市民・団体との協働



名 称	時 期	内 容	活動者数等
植物解説ボランティア	通 年	園内で植物解説活動に当たるガイドボランティアを育成し、来園者へのサービス向上につなげた。 (解説ボランティア登録人数50人)	活動延べ人数 1,043 人

名 称	時 期	内 容	活動者数等
植物管理ボランティア	通 年	植物友の会会員を対象に園内で植物管理等に当たるボランティアを育成し、来園者へのサービス向上につなげた。	活動延べ人数 349 人
地域団体などとの協働	通 年	造幣局広島支局「花のまわりみち」への桜樹育成指導や文化活動、佐伯区役所との協力などにより、植物を通じた地域の活性化を図った。	29 件 《内訳》 造幣局桜樹育成指導 5 件 佐伯区百人委員会花部会 4 件 さきさきフラワープロジェクト 9 件 区民サオーキング大会 3 件 福富中学校 4 件 (株)静農検査センター 1 件 鳥取大学 1 件 日本植物園協会植物研究会 1 件 広島大学 1 件
グリーン・レガシー・ヒロシマへの協力	通 年	被爆樹木の種子を国内外の都市へ送付する活動に対し、種子の保存や送付及び育苗の協力を行った。	25 件
花と緑と音楽の広島づくりの推進	通 年	広島市都市整備局緑化推進部と連携して、地域の花壇作り等の活動を行うグループへの講習等を実施し、リーダー育成につなげた。	3 件

【愛好者団体による展示会】

名 称	時 期	内 容
「草木染の世界」展	4月1日 ～4月4日 3月8日 ～3月31日	草木を使った染物と染色に利用される植物などを展示し、作品などについて解説した。
ボタニカルアート展	4月6日 ～5月6日	ボタニカルアート(植物細密画)作品を展示した。
エビネ展	4月20日 ～4月23日	日本の野生ランの中で最も美しく、花色の多いエビネを展示した。
春の山野草展	4月20日 ～4月24日	春咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
クレマチス展	4月27日 ～5月6日	テッセンやカザグルマの名で親しまれる色とりどりの大輪の花が美しいクレマチスの仲間を展示した。
セッコク・長生蘭展	5月8日 ～5月13日	日本の野生ランであるセッコクとその中で斑入りなどの特徴を持ち長生蘭と呼ばれる品種を展示した。
趣味のボタニカルアート展	5月11日 ～6月5日	ボタニカルアート(植物細密画)を展示した。
遅咲きクレマチス展	5月18日 ～5月21日	小型で可愛らしいヴィチセラ系クレマチスや遅咲き大輪系を中心に、美しいクレマチスの仲間を展示した。
初夏の小品盆栽展	6月8日 ～6月10日	フウチソウやツツジなど、初夏に見ごろの植物を小鉢仕立てで展示した。

名 称	時 期	内 容
ウ チ ョ ウ ラ ン 展	6月15日 ～6月20日	初夏に可憐な花を咲かせる小型の野生ランであるウチョウランを展示した。
私の好きな花たちの写真展	6月15日 ～7月15日	身近な植物を題材とした写真を展示した。
サボテン・多肉植物展	10月12日 ～10月20日	変化に富んだサボテンや多肉植物を展示した。
秋 の 山 野 草 展	10月19日 ～10月24日	秋咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
野 生 き の こ 展	10月19日 ～10月20日	広島県に自生する様々なきのこを展示した。
ハンギングバスケット作品展	10月26日 ～11月4日	ハンギングバスケットを展示し、作り方などを紹介した。
寒 蘭 展	11月9日 ～11月17日	東洋蘭の中でも特に清楚で気品のある寒蘭を展示した。
新 春 小 品 盆 栽 展	1月4日 ～1月6日	松・竹・梅など、新春を飾るにふさわしい植物を小鉢仕立てで展示した。
お も と 名 品 展	2月5日 ～2月11日	葉の斑入り模様や形の変化が面白い万年青を展示した。
フラワーデザイン展	2月22日 ～2月28日	切り花やドライフラワーなど様々な素材を生かしたフラワーデザインの作品を展示した。

(ウ) 植物友の会の活動



会員内訳（個人会員：93 人、家族会員：24 家族 57 人）

名 称	時 期	内 容	参加者数
広 島 市 植 物 公 園 植 物 友 の 会 例 会	5月12日	春～初夏の園芸作業、園内見所ガイド	25 人
	7月7日	夏の園芸作業、除虫菊で線香作り	33 人
	9月8日	秋の園芸作業、鳴く虫講習会、植物で虫かごづくり	31 人
	11月10日	特別講義（講師：糀原美恵子氏） 「インドアカネを使った草木染の講習会」	28 人
	1月12日	冬の園芸作業、雪吊りの飾りを作ってみよう	27 人
	3月9日	総会、園内見所ガイド	34 人

名 称	時 期	内 容	参加者数
会 誌 の 発 行	年 4 回	植物の話題や友の会の活動、植物公園の出来事などを載せた会誌「はなの輪」を発行した。	春号 400 冊 夏号 400 冊 秋号 400 冊 冬～初春号 400 冊
野 外 観 察 会	5月15日	植物や自然についての理解や知識を深めるため、自然景勝地等に生育する植物を観察した。	20 人

(エ) 講座その他催し物の開催

a 講座



名 称	時 期	内 容	参加者数
ガーデニング講座 ～基礎から応用まで～	4月13日	ブリコラージュフラワーの寄せ植え作成 講師：ハンギングバスケットマスター 南 恵子氏	20 人
	11月23日	正月の玄関にも飾れる初冬のハンギングバスケット作り 講師：ハンギングバスケットマスター 九内久美子氏	20 人
暮らしに役立つ ハーブ講座	6月29日	ミントの仲間の講義と実習を行った。 講師：梶原美恵子氏	23 人
	7月6日	ローズマリーの仲間の講義と実習（フレッシュ使用の香りクラフト）を行った。 講師：梶原美恵子氏	22 人
	7月13日	カモマイルの仲間の講義と実習（カモマイルの不思議な染色）を行った。 講師：梶原美恵子氏	23 人

b 講習会・実演会



名 称	時 期	内 容	参加者数等
さくら写真撮影講習会	4月6日 4月14日	初心者向けにサクラの写真の撮り方を解説した。 講師：新田フォトスタジオ 新田英樹氏	28 人 18 人
色鉛筆で描く ボタニカルアート体験	4月20日	色鉛筆を用いたボタニカルアートを参加者に体験してもらった。	26 人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
エビネ実演会	4月21日	エビネの育て方を実演解説した。 講師：安芸えびね研究会会員	45 人
春の山野草実演会	4月21日	春の山野草の栽培方法を実演解説した。 講師：広島山草同好会 縄田卓生氏	42 人
クレマチス実演会	5月3日	クレマチスの育て方を実演解説した。 講師：日本クレマチス協会広島支部 五弓莞氏	47 人
セッコク実演会	5月12日	日本の野生ランであるセッコクの育て方を実演解説した。 講師：瀬戸内セッコク愛好会 山下義美氏	10 人
ハーブ実演会	5月19日	ハーブの育て方、楽しみ方を実演・解説した。講師：梶原美恵子氏	8 人
ボタニカルアート色付け体験	5月19日	ボタニカルアート(植物細密画)の色付けを解説し、参加者に体験してもらった。 講師：花も実もある会会員	15 人
バラの花束づくり講習会	5月19日	バラの花束の作り方について実習を行った。 講師：ひろしま花好会会長 林泰寛氏	38 人
バラ講習会	5月26日	「ばらのまち福山での取組みとばら栽培の植物学的基礎」について、詳しく解説した。 講師：福山市世界バラ会議推進プロジェクトマネージャー上田善弘氏	62 人
アジサイ実演会	6月2日 6月9日	アジサイの育て方を実演解説した。	28 人 25 人
ハナショウブ観賞会	6月8日	ハナショウブの育て方や楽しみ方について解説し、観賞を行った。	24 人
小品盆栽実演会	6月9日 1月5日	小品盆栽の仕立て方、育て方を実演解説した。 講師：広島小品盆栽会会長 野崎信平氏	18 人 21 人
植物写真撮影講習会	6月16日	植物の写真の撮り方を解説した。 講師：新田フォトスタジオ 新田英樹氏	18 人
夏休みワクワク植物ミニ体験	7月21日	「ハーブの水さし栽培」	19 人
	8月4日	「食虫植物のお話」	41 人
	8月10日	「巨大ベゴニアの剪定とさし木」	11 人
	8月17日	「バケツでミニスイレンとメダカを一緒に育てよう」	36 人
江田島オリーブの収穫体験	10月8日	雨天のため、オリーブの枝でリース作りを行った。	13 人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
多肉植物寄植ワークショップ	10月12日	エケベリアなど多肉植物の寄せ植えについてワークショップを行った。 講師：林哲治氏、青木晋氏	16 人
秋の山野草実演会	10月20日	秋の山野草の栽培方法を実演解説した。 講師：広島山草同好会 縄田卓生氏	14 人
手作りドレッシング ワークショップ	10月26日	食用油のお話とドレッシング作りを行った。 講師：日清オイリオグループ株式会社 技術本部 応用研究所長 上原秀隆氏、 応用研究所長付 菅沼智巳氏	53 人
花と緑の講習会	10月	秋のグリーンフェア期間の平日にミニ講座を行った。	合計 27 人
園芸ミニ講座 「ゼラニウムの冬越し」	10月28日	「ゼラニウムの冬越し」をテーマに実演を行った。	6 人
園芸ミニ講座 「秋の花めぐり」	10月29日	「秋の花めぐり」をテーマに解説を行った。	3 人
園芸ミニ講座 「観葉植物の冬越し」	10月30日	「観葉植物の冬越し」をテーマに実演を行った。	5 人
園芸ミニ講座 「秋植えの球根について」	10月31日	「秋植えの球根について」をテーマに実演を行った。	13 人
洋ラン実演会	5月5日	「春の洋ラン展」に合わせ、洋ランの育て方等を実演解説した。 講師：広島洋蘭倶楽部会長 山口祐氏	4 人
	11月4日	「秋の洋ラン展」に合わせ、洋ランの育て方等を実演解説した。 講師：広島洋蘭倶楽部会員 橋本輝彦氏	12 人
	2月24日	「春の特別ラン展」に合わせ、洋ランの植え替え等を実演解説した。 講師：広島洋蘭倶楽部会員 橋本輝彦氏	8 人
	3月1日	「春の特別ラン展」に合わせ、デンドロビウムの植え替え等を実演解説した。 講師：広島洋蘭倶楽部会長 山口祐氏	30 人
	3月2日	「春の特別ラン展」に合わせ、洋ランの栽培等を実演解説した。 講師：広島洋蘭倶楽部会員 松本広樹氏	18 人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ハンドクリームで アロマ体験	11月9日	オリジナルのハンドクリームづくりを行った。 講師：ナード・アロマセラピー協会認定アロマセラピスト・アロマインストラクター 大下 香苗氏	22 人
寒 蘭 実 演 会	11月10日	寒蘭の育て方を実演解説した。 講師：広島和蘭会会員	16 人
クリスマスリース作り講習会	11月16日	クリスマスリースの作り方を解説した。 講師：公益社団法人日本フラワーデザイナー協会 古川悦子氏	26 人
ショコラミルによる チョコ製造体験	2月8日	専用石臼「ショコラミル」を使い、チョコレート作りの体験を行った。 講師：広島大学名誉教授 佐藤清隆氏、越智美久里氏	52 人
お も と 実 演 会	2月9日	おもと（万年青）の栽培管理を実演解説した。 講師：日本おもと協会広島支部会員 西永祐司氏	9 人
フラワーデザイン実演会	2月23日	フラワーデザイン作品制作のデモンストレーションを行った。 講師：公益社団法人日本フラワーデザイナー協会会員 みやさこ峰子氏、山崎美穂子氏	98 人
洋 ラ ン 栽 培 講 習 会	3月15日 3月16日	展示に使用したランを使った講習会を開催した。	68 人 69 人
シイタケ栽培講習会	3月20日	シイタケの植菌とその後の管理方法を解説した。 講師：広島県森林インストラクター くぬぎの会会員	80 人
草 木 染 講 習 会 (子ども織物教室)	3月23日	小さな織物を使って、オリジナルの織物マット作りを行った。 講師：広島草木染の会代表 寺田勝彦氏	17 組 35 人

c 講演会・展示解説



名 称	時 期	内 容	参加者数
ボタニカルアート展 ギャラリートーク	4月7日	ボタニカルアート展について解説した。	7 人
ハーブ展ギャラリートーク	5月18日	ハーブ展について解説した。	10 人
職 員 ガ イ ド	5月18日	バラ（原種・オールドローズ・モダンローズなど）について解説した。	35 人

名 称	時 期	内 容	参加者数
ビカクシダとカラフルリーフ展ギャラリートーク	7月6日	ビカクシダとカラフルリーフ展の展示内容について担当職員が解説を行った。	14 人
インドアグリーン講演会	7月14日	ビカクシダやサトイモ科植物など室内でも育てられる人気の観葉植物について、自生地での写真などを交えながら、その魅力や楽しみ方について講演を行った。 講師：熱帯植物栽培家 杉山拓巳氏	90 人
変化朝顔展解説	8月25日	変化アサガオの育て方と変化朝顔展について解説した。	10 人
変化朝顔展講演会	8月27日	「変化朝顔の歴史と研究の最前線」と題して講演や事例紹介などを行った。 講師：仁田坂英二氏（九州大学大学院理学研究院准教授）ほか	39 人
特別企画展 「人の暮らしを支える『植物と油』展」 ギャラリートーク	9月22日	特別企画展「人の暮らしを支える『植物と油』展」の展示内容について解説を行った。	4 人
薬用植物展解説	9月23日	薬用植物展について解説した。	11 人
特別企画展 「人の暮らしを支える『植物と油』展」 講演会	9月29日	「植物からとれる油で作るお菓子の王様：チョコレートの魅力」をテーマに講演を行った。 講師：広島大学名誉教授 佐藤清隆氏	24 人
	11月17日	「植物油脂の栄養と機能―”体に良い油”を見分けるには？」と題して講演を行った。 講師：元日清オイリオグループ株式会社執行役員中央研究所長 青山敏明氏	23 人
カカオニブ講演会	2月9日	絵本「たくさんの不思議：ひと粒のチョコレートに」の朗読とチョコづくりの体験を行った。 講師：広島大学名誉教授 佐藤清隆氏	102 人
明治食育セミナー 「発見！チョコレートのひみつ」	2月11日	カカオ豆からチョコレートができるまでの一連の工程を紹介した。 講師：（株）明治 管理栄養士 米田麻衣氏	90 人
洋 ラ ン 講 演 会	2月23日	「シラン、ワカラン??? ランの七不思議」と題して講演を行った。 講師：筑波実験植物園 遊川知久氏	86 人
「草木染の世界」展 ギャラリートーク	3月23日	「草木染の世界」展の作品などについて解説した。 講師：広島草木染の会代表 寺田勝彦氏	13 人

d コンクール

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ラン 審 査 会	4月27日 10月26日 2月21日	ランの栽培技能の向上を図るため、ラン展展示協力団体から出品されたランを審査し、優秀作品を表彰した。	19人 100点 16人 51点 37人 223点 計72人 374点
植物写真コンテスト	9月1日 ～11月30日	植物公園の植物や園内風景を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 368点 入選 49点
写 生 大 会 (佐伯区役所共同事業)	11月24日	園内で絵を描いてもらい、優秀作品を表彰した。	応募 191点 入選 18点

e 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数
職 員 に よ る 植物うんちく語り	4月14日	早咲きのバラ・珍しいバラ	56人
	4月23日	春の植物たち～園芸種から雑草まで～	16人
	5月6日	変化朝顔を育ててみよう	43人
	5月28日	アジサイの七変化	15人
	6月1日	蛇紋岩植物をめぐる冒険	53人
	6月25日	ビカクシダとカラフルリーフ展 直前情報	20人
	7月7日	植物を知って、虫博士になろう！	20人
	7月23日	食虫植物を楽しもう！	28人
	8月3日	スイレンの世界	44人
	8月20日	ベゴニアに片思い	10人
	9月7日	身近に潜む毒と薬	15人
	9月24日	賢く生きる乾燥地の植物	16人
	10月5日	特別企画展 「人の暮らしを支える『植物と油』展」	50人
	10月22日	秋の草花花壇	8人
	11月9日	秋を彩るバラ	24人
	11月26日	晩秋の植物	6人

名 称	時 期	内 容	参加者数
職 員 に よ る 植 物 う ん ち く 語 り	12月1日	五感で愉しむ植物学+植物カルタ	40 人
	12月24日	冬の温室散策	16 人
	1月11日	はなのわ花壇の植物たち	18 人
	1月28日	冬を彩る鉢花	36 人
	2月1日	特別ラン展の見どころ紹介	45 人
	2月25日	植物で感じる春の訪れ	34 人
	3月1日	植物生まれの奇跡の色 草木染めの世界	24 人
	3月25日	変わり葉ゼラニウム解説	8 人
園 内 生 き 物 探 訪	6～1月	年8回、外部講師及び本園職員による生きものの観察を行った。	合計 347 人
モリアオガエル観察のすすめ	6月1日	園内で見られるモリアオガエルなどの生き物についてスライドで解説を行った。	23 人
冬 虫 夏 草 観 察 会	7月14日	園内に発生する冬虫夏草を散策しながら観察した。 講師：瀬戸内虫草団顧問 北野俊二氏	31 人
き の こ 観 察 会	10月19日	園内に自生するきのこを散策しながら観察した。 講師：広島きのこ同好会会長 川上嘉章氏	28 人
野 鳥 観 察 会	1月13日	園内に飛来する野鳥を観察した。 講師：大丸秀士氏	26 人
みどりとむし講座 (植物園・昆虫館 共 同 事 業)	4～10月	昆虫館と共同で開催し、虫の観察だけでなく植物と虫が深くかかわりあっていることを紹介した。	合計 239 人
花 と 虫 さ が し	4月28日	昆虫館周辺でチョウやハナバチなどの観察とそれらが集まる植物について解説した。	26 人
カ ブ ト ム シ と ク ワ ガ タ ム シ	7月28日	身近な昆虫であるカブトムシやクワガタムシを題材として、昆虫が集まる植物の紹介や説明、昆虫の特徴や育て方等について展示資料館2階講堂で、こんちゅう館の職員と当園職員と一緒に解説した。	140 人
ドングリと虫さがし	10月12日	昆虫館周辺でドングリのなる植物とそれに関係する昆虫について観察・解説した。	27 人
アサギマダラ観察会	10月14日	園内に飛来するアサギマダラとその吸蜜植物フジバカマを観察した。	46 人
園 内 散 策 ～広島絶滅危惧植物～	7月13日	身近な野草や園で調査・保全を行っている植物について、うらら池周辺、里山の野草園等を案内しながら解説した。	12人

f 植物教室その他催し物



名 称	時 期	内 容	参加者数等
オリエンテーリング	5月4日 7月20日 ～9月1日 11月3日	みどりの日、サマーフェア、開園記念日にオリエンテーリングを開催し、参加者に記念品を進呈した。	1,000人 2,375人 1,000人 計 4,375人
お 茶 会	5月26日 6月2日 6月9日	ハナショウブウィーク&アジサイウィーク開催中にお茶会を開催した。 協力：宗澄の会	100人 100人 100人 計 300人
草 笛 体 験 会	6月2日 7月7日 8月4日 9月1日 10月6日	草笛の吹き方、その楽しさを体感してもらった。 協力：広島県草笛愛好会	100人 30人 30人 100人 40人 計 300人
森 の 幼 稚 園	6月2日 10月13日	幼児と保護者を対象に園内の植物や自然を通じて、楽しく学ぶ機会を提供した。 講師：広島修道大学人文学部教育学科教授 松崎雅広氏	10組 28人 6組 17人
親子植物体験教室	7月27日	小学校1～3年生とその保護者を対象に、植物の観察などを通じて植物について楽しく学ぶ機会を提供した。	14組 34人
オオオニバス試乗体験会	8月8日 8月11日 8月13日 8月15日	小学生(低学年)以下を対象に、オオオニバスの葉に乗る体験会を実施した。	272人 275人 279人 273人 計 1,099人
コスモスの摘み取り	11月9日	レストラン前のコスモス畑で、来園者にコスモスを摘み取り持ち帰ってもらった。	222人

(オ) 学校教育活動の受入れ



名 称	時 期	内 容	件 数 等
自然体験学習の受入れ	通 年	保育園、幼稚園、小・中学校が行う自然体験学習を受け入れるほか、オリエンテーリングの相談に応じ、植物や自然保護などについて指導した。	8件 1,361人
職場体験などの受入れ	通 年	中学校の職場体験や高等学校等のインターンシップを受け入れ指導した。	6件 16人

(カ) 企画展その他展示会の開催



名 称	時 期	内 容
ゼ ラ ニ ウ ム 展	4月1日 ～4月14日 3月8日 ～3月31日	多彩な花色と葉の模様・色が美しいゼラニウムや、豪華なペラルゴニウムなどを展示した。
サ ク ラ ソ ウ 展	4月13日 ～4月17日	花の形や色の変化に富むサクラソウを展示した。
春 の 洋 ラ ン 展	4月27日 ～5月6日	春咲きのランの原種や交配種を展示し、ランの魅力を紹介した。
ローズフェスティバル	5月11日 ～5月26日	バラの展示を中心に、講習会やガイドツアーを行った。
ハ ー ブ 展	5月18日 ～5月26日	ハーブとして利用されている植物とその利用方法を紹介した。
ア ジ サ イ 展	5月25日 ～6月30日	花の色の変化に富むアジサイの原種、園芸品種などを展示した。
セントポーリアと イワタバコの仲間展	5月29日 ～6月9日	可憐で人気のあるセントポーリアやその他のイワタバコ科の植物を展示した。
ビ カ ク シ ダ と カラフルリーフ展	6月29日 ～7月15日	園が所有するビカクシダや葉の色が様々で美しいカラフルリーフなどを中心に展示した。
盛夏のスイレン展	7月13日 ～9月23日	睡蓮鉢を用いて、温室内外でスイレンを展示し、来園者に夏の涼を提供した。睡蓮鉢でのコンパクトな草姿と常設の熱帯スイレン温室の大株の対比も紹介した。
世界の食虫植物展	7月20日 ～8月18日	ハエトリグサやウツボカズラなど、子どもたちに人気のある世界の食虫植物を展示した。
夏のオープンスペース 植物であそぼう	7月20日 ～9月1日	植物を使った遊びや、五感を利用して植物を楽しむ方法を紹介した。
変 化 朝 顔 展	8月24日 ～9月1日	花や葉が変化した珍しいアサガオを展示した。
薬 用 植 物 展	9月7日 ～10月6日	ウコンやキキョウなど薬用として用いられる植物を展示した。
特 別 企 画 展 「人の暮らしを支える 『植物と油』展」	9月14日 ～12月22日	料理で使用する食用油など、私たちの身の回りにある様々な植物油とその原料に焦点を当てて、人と油の歴史や、油に関する近年の話題について紹介と解説を行った。
秋 の 洋 ラ ン 展	10月26日 ～11月4日	カトレヤやパフィオペディルムなど洋ランの園芸品種と珍しい原種を展示した。
キ ク 展	10月26日 ～11月17日	日本と中国の交流の証である中国の菊花や日本園芸菊などを展示した。
クリスマス飾るフラワー展	11月23日 ～12月25日	シクラメンやポインセチアなど、クリスマスでよく使われる植物や飾りを展示した。
冬 の 鉢 花 展	1月8日 ～2月2日	パンジー、ビオラやカランコエをはじめとする冬の鉢花を展示し、品種や栽培方法などをパネルで解説した。

名 称	時 期	内 容
植物写真コンテスト作品展	1月11日 ～2月19日	園内の植物や風景をテーマに募集した写真コンテストの入賞作品を展示した。
写生大会入賞作品展 (ロ ビ ー 展)	1月18日 ～2月16日	佐伯区と共催で実施した写生大会の入賞作品を展示した。

(キ) 広報普及



名 称	時 期	内 容	件 数 等
マスコミによる広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社などを通じて、植物の見頃の時期や催し物などについては毎月、珍しい植物の開花状況などについては随時、広報した。	テレビ 28 件 ラ ジ オ 19 件 新 聞 14 件 情報誌等 158 件 計 219 件
催し物案内ポスター・P R 用 チ ラ シ の 配 布	通 年	催し物案内ポスターやP R 用 チ ラ シ を 作 製 し、公 共 施 設 な ど に 配 布 し た。	ポスター 532 か所 チ ラ シ 2,408 か所
植物写真パネルなどの貸出し	通 年	植物や園内風景を撮影した写真パネル・画像データを公共施設や事業所などに貸し出し、植物公園のP R に努めた。	13 か所 207 点
ホームページによる広報	通 年	ホームページ（ブログを含む）により施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。内容をリニューアルし、開園状況やイベント案内等を分かりやすくした。さらに、スマートフォン用ページを新設した。	アクセス件数 201,111 件
SNSの活用による広報	通 年	X（旧Twitter）、Instagram、Facebookにより施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	投稿件数 X 413 件 Instagram 344 件 Facebook 369 件
有料の広告媒体による広報	通 年	イベントチラシの新聞折込等を行った。	4 回
マツダスタジアムにおける P R 活 動	6月4日	マツダスタジアム内で「みどり生きものきょうしつ」を開催し、植物の展示や解説、植物公園のP R を行った。	—

(ク) 出版物の発行



名 称	時 期	内 容	発行部数
「 紀 要 」	通 年	各種の出版物を発行、配布して、国内外の植物園、大学、各関係機関との交流を深め、植物園事業の発展を図るとともに、植物に関する知識の普及及び植物園事業の周知を図った。	200 部
「 栽 培 記 録 」			200 部
「 栽 培 の 手 引 き 」			HPで提供
「 植 物 観 察 ノ ー ト 」			HPで提供
「 種 子 目 録 」			電子メールで提供
「 年 報 」			70 部
「 あ ら ま し 」			250 部
広報誌「はなの輪」			4,000 部

(ケ) 植物に関する相談



名 称	時 期	内 容	件 数
植 物 園 芸 相 談	通 年	植物の栽培方法など植物に関する相談等を受けて助言、指導した。	1,365 件

④ 昆虫館の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定管理者として指定（指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日）を受けた昆虫館における昆虫の飼育・展示、収集及び飼育管理、入館料の収受、施設の維持管理などを行い、入館者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

イベントや昆虫に関する情報提供はSNSやホームページ等により積極的に行うなど、利用促進につながる活動に取り組んだ。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、希少昆虫の生息域内外保全に積極的に関わり、生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育、学校教育活動への協力、催し物の開催など各種事業を植物公園、安佐動物公園、農林水産振興センター、5-daysこども文化科学館等と協働して実施し、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及、かん養並びに昆虫愛好者の育成を図った。

ア 昆虫の飼育・展示など

(ア) 昆虫の飼育・展示



〔展示場所〕 主な展示昆虫		内 容
〔パピヨンドーム〕	チ ョ ウ 類	年間を通して亜熱帯の花が咲く温室に、オオゴマダラ、スジグロカバマダラ、ツマベニチョウなど、10種500頭以上の沖縄産の美しい種を放蝶し、吸蜜、飛翔、求愛、交尾、産卵などチョウの様々な行動を目の当たりに観察できる展示を行った。
	テントウムシ類	老若男女を問わず人気の高いナミテントウ、ナナホシテントウを10～11月に展示した。
〔昆虫ランド〕	外国産昆虫	
	陸生昆虫	夜行性昆虫
		昼行性昆虫
	水生昆虫	

ヘラクレスオオカブトムシ、ニジイロクワガタ、ハナカマキリ、ユウレイヒレアシナナフシ、オオコノハムシなど、大型・珍奇で展示効果の高い外国産昆虫を展示した。	
オオクワガタ、カブトムシ、スズムシ、マダラコオロギなど夜に活動する昆虫を照明により昼夜を反転させて展示した。	トノサマバッタ、モリバッタ、ツダナナフシ、ナナホシキンカメムシなど昼に活動する昆虫を展示した。
絶滅危惧種であるゲンゴロウ、タガメ、ミズカマキリなどの水生昆虫を展示した。	

〔展示場所〕 主な展示昆虫			内 容
〔昆虫ランド〕	旬の昆虫	季節の昆虫	カナブン、オニヤンマの幼虫など、季節の移り変わりを感じさせる身近な昆虫を展示した。
		外来昆虫	ラミーカミキリ、マツヘリカメムシなど、身近に見られるようになった外来種をスポットで展示した。
	ハナムグリ類		猛暑の為、パピヨンドームから昆虫ランドに展示場所を変更し、シロテンハナムグリ、コアオハナムグリなどを7～8月に展示した。
	社会性昆虫		巣を再現した専用テラリウム内でニシムネアカオオアリなど巣を作り社会生活をする昆虫を群れ展示した。
	昆虫以外の陸生節足動物		昆虫のなかまと間違えやすいサソリ、タランチュラ、サソリモドキなど、「むし」と呼ばれる陸生節足動物を展示した。
〔展示ケース〕	広島県の希少昆虫		生息域外保全として当館で飼育している広島県のみで生息する絶滅危惧昆虫のヒョウモンモドキの成虫約25頭を発生時期である6月に展示した。

【昆虫等の飼育頭数】

(令和7年3月31日現在)

区 分	種 類	頭 数
チョウ類など(パピヨンドーム)	10 種	550 頭
外 国 産 昆 虫	34 種	758 頭
夜 行 性 昆 虫	19 種	408 頭
昼 行 性 昆 虫	14 種	155 頭
水 生 昆 虫	8 種	73 頭
旬 の 昆 虫	1 種	1 頭
社 会 性 昆 虫	3 種	3 群
昆虫以外の陸生節足動物	8 種	39 頭
広 島 県 の 希 少 昆 虫	1 種	—
合 計	98 種	1,984 頭 3 群

(イ) 昆虫の収集及び飼育管理



名 称	内 容
展示昆虫の維持及び種の保存	計画的な採集や交換などにより、累代飼育を適正に行い、展示昆虫を維持するとともに、保護が必要な昆虫を飼育し、種の保存に取り組んだ。
近交弱勢防止のための チョウその他の昆虫の採集	累代飼育の結果生じる近交弱勢を防止するため、必要に応じて、広島県や沖縄県などでチョウその他の昆虫を採集した。
昆 虫 の 交 換	近交弱勢などの防止及び展示種の充実のため、他の昆虫展示施設と昆虫を交換した。 譲受け：クロカタゾウムシなど 5種 譲渡し：ハナカマキリなど 33種
チョウその他の 昆虫の累代飼育	他の動物に比べ比較的寿命の短い昆虫を周年展示するために、チョウ類約10種、その他の昆虫など約100種を累代飼育した。
広島 の 自然環境の 調査と情報発信	広島の昆虫とそれを取り巻く自然の現状を調査し、その情報は展示や講座などで発信し、SDGs ⑮「陸の豊かさを守ろう」の普及啓発に努めた。
外国産昆虫の導入と飼育	ヒシムネカレハカマキリなどを導入した。ハナカマキリの累代飼育の確立に努めた。
昆 虫 の 飼 育 管 理	成育状態を良好に保つため、温度・湿度の管理、消毒等を行い、チョウその他の昆虫の飼育及び展示に不可欠な蜜源植物及び食草を周年栽培・維持管理し、飼育環境の向上を図った。

(ウ) 入館料の収受（利用料金制）

【入館状況】

区 分					入館者数	使用料	
有 料 入 館 者	個人		大人	18歳以上65歳未満	510 円	22,050 人	11,245,500 円
				65歳以上	170 円	2,084 人	354,280 円
			小人	18歳未満（小・中学生を除く）	170 円	202 人	34,340 円
	年間 パス ポート	購入	大人	18歳以上65歳未満	1,560 円	789 人	1,230,840 円
				65歳以上	510 円	43 人	21,930 円
			小人	18歳未満（小・中学生を除く）	510 円	1 人	510 円
		提示	大人	18歳以上65歳未満	—	4,949 人	— 円
				65歳以上	—	363 人	— 円
			小人	18歳未満（小・中学生を除く）	—	10 人	— 円
	団 体		大人	18歳以上65歳未満	430 円	490 人	210,700 円
				65歳以上	130 円	1 人	130 円
			小人	18歳未満（小・中学生を除く）	130 円	2 人	260 円
小 計					30,984 人	13,098,490 円	
減免等入園者（小・中学生、社会福祉施設、その他）					47,681 人	—円	
合 計					78,665 人	13,098,490 円	

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	販売枚数等
年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に昆虫館の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・植物公園と共通して利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	833枚
外国人観光客誘致の促進	通 年	和・英文リーフレットを森林公園内・昆虫館内、パーキングエリアや公共施設に設置し、入館者増に努めた。	発行部数 1,000部
休 館 日 の 開 館	4月3日 5月1日 7月24日 7月31日 8月7日 8月14日 8月21日 10月2日 10月9日 10月16日 10月23日 10月30日 3月26日	お花見シーズン、ゴールデンウィーク、夏休み期間、体験学習の実施依頼の多い秋の期間の休館日を開館し、利用者に対するサービスの向上を図るとともに、入館者増に努めた。	入館者数 2,297人

(オ) 施設の維持管理・館内サービス

名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	入館者に安全・快適な観覧環境を提供するため、館内の清掃・警備を行った。また、建物や機械・電気などの設備を良好な状態で使用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入館者が快適に観覧できるよう、標識、リーフレット、館内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の搜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
展 示 解 説 の 充 実	通 年	昆虫の魅力や希少昆虫の現状を伝えるための展示解説板を、様々な年齢層を対象とするために画像、動画や音源を用いて常時更新した。また、パピヨンドームの植物に解説ラベルを更新した。
入 館 者 へ の 涼 感 サ ー ビ ス の 提 供	7～9月	夏期の暑さ対策として、昆虫館入口付近にミスト発生装置を設置した。

(カ) 施設の機能充実

名 称	時 期	内 容
みどり生きものサポーター・昆虫館募金等による施設の機能充実	通 年	より魅力的な施設を入館者に提供するため、寄附金を募った。寄附金は次年度以降に繰り越し、昆虫好物樹木園の整備などに充てていく予定である。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携



名 称	時 期	内 容
保護活動に関する情報交換	通 年	保全地域協議会とヒョウモンモドキの調査や生息地の環境保全活動や情報交換等を行った。

(イ) 生息域内保全



名 称	時 期	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧昆虫の保全	4月20日 6月8日 9月28日 11月4日	昆虫館ボランティアとの協働でヒョウモンモドキの生息地環境整備等を行った。	三原市久井 4件
	10月5日	昆虫館ボランティアとの協働で赤トンボ類の調査を行った。	東広島市志和 1件

(ウ) 生息域外保全



名 称	時 期	内 容	内訳等
生息地以外における絶滅危惧昆虫の保全	通 年	広島県のみが生息し、国内希少野生動植物種に指定されているヒョウモンモドキを館内で累代飼育し、生息地で採取・放虫するなど保全に取り組んだ。また、成虫の出現期の6月には専用ケージで生体展示を行った。	生息域外展示 6月 幼虫採取 (60個体) 6月 食草管理 11月

(エ) 昆虫に関する調査・研究



名 称	時 期	内 容
昆虫に関する調査・研究	通 年	広島県、沖縄県などで、昆虫の種類や数の調査、採集を行い、ヒョウモンモドキなどの希少昆虫や分布上貴重な昆虫の生息状況を記録した。また、採集した昆虫を飼育して累代飼育の確立のための研究を行うとともに、採集した昆虫の一部や画像、動画等を標本資料として保管した。
各 種 資 料 の 収 集	通 年	昆虫に関する書籍・雑誌・資料を収集し、累代飼育などの調査・研究に役立てた。
研 究 活 動 発 表 会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	2月2日	昆虫の飼育展示活動などの成果を市民に情報提供した。当館は「学んでつくる企画展～「美しいチョウの世界」ができるまで～」を演題に発表した。 (参加者 75人)

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力



名 称	時 期	内 容	件数等
講習会・観察会への講師の派遣	8月8日 10月18日 11月30日	文化施設や公共施設などが実施する昆虫及び自然環境に関する講習会・自然観察会に職員を講師として派遣した。	3件 67人
実習生の受入れ	5月20日 ～5月26日	大学生（博物館実習）を受け入れ、実習を行った。	1人

(イ) 学校教育への協力



名 称	時 期	内 容	件数等
出張自然体験活動	4～3月	命の大切さを伝えるため、保育園・幼稚園、小学校に職員を派遣し、昆虫とのふれあい体験や昆虫をテーマにした講座を行った。	50件 5,780人
教材生物バザールへの参加	5月13日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として昆虫に関する資料を提供した。 (於：東広島市)	170人

(ウ) 市民・団体との協働



名 称	時 期	内 容	参加者数等
まんかい桜むしみくじ (森林公園・昆虫館協働事業)	4月1日 ～4月7日 3月15日 ～3月31日	園内にある桜と昆虫をテーマにしたおみくじを配布した。	4月 859人 3月 1,858人
昆虫館ボランティア	4月20日 6月8日 9月28日 10月5日 11月4日 11月27日	ボランティアを募り、自然や昆虫に関する専門知識を指導し、広島県内の希少昆虫の保護活動や調査等を行った。(ボランティア総数27人)	活動回数 6回 活動延べ人数 17人
市民の里@安佐観察会 (農業振興センター協働事業)	6月15日 7月27日 9月7日	市民の里@安佐で「初夏の自然観察会」「トラップを使った昆虫観察会」「秋の昆虫観察会」を開催した。	6月 21人 7月 28人 9月 46人
七夕イベント (森林公園・昆虫館協働事業)	6月29日 ～7月7日	虫をモチーフにした短冊を設置して、自由に願いを書き笹に装飾できるコーナーを作った。	971人 (期間中の入館者数)
科学の祭典 (こども文化科学館・昆虫館協働事業)	10月26日	5-daysこども文化科学館で行われる「科学の祭典」に昆虫館ブースを出展した。	101人
ハロウィंकイズラリー (森林公園・昆虫館協働事業)	10月27日	ハロウィンに合わせて飾りつけた館内で、クイズラリーを実施した。	185人
森のクラフト教室 (森林公園・昆虫館協働事業)	11月10日 11月17日	外部講師を招き、木の実や落ち葉、カイコの繭を材料にした工作教室を実施した。	243人
森の七福神めぐり (森林公園・昆虫館協働事業)	1月11日 ～1月13日	昆虫館と公園を巡る昆虫や自然を七福神になぞらえたスタンプラリーを実施した。	347人
虫みくじ (森林公園・昆虫館協働事業)	1月11日 ～1月13日	園内イベントや昆虫の解説付きの新年の運勢を占う「虫みくじ」を配布した。	777人
里山整備士講座 (農業振興センター協働事業)	2月2日	農業振興センター登録の里山整備士を対象に「里山と昆虫」について講習会を実施した。	9人
バレンタインイベント (森林公園・昆虫館協働事業)	2月10日	バレンタインに合わせて森林公園と協働でイベントを行った。昆虫館ではリースや花に多数集まったチョウと一緒に撮影ができるコーナーを設置した。	54人

(エ) 昆虫館友の会の活動



会員内訳（家族会員：29 家族 100 人）

名 称	時 期	内 容	参加人数等
野 外 観 察 会	5月12日	昆虫館周辺で初夏の昆虫の観察を行った。	62人
	6月23日	昆虫館周辺で梅雨時期の昆虫の観察を行った。	66人
	7月20日	昆虫館周辺で夏の昆虫の観察を行った。	11人
	7月20日	市民の里@安佐で夜間観察会を行った。	33人
	10月20日	市民の里@安佐で晩秋の昆虫の観察を行った。	50人
	2月23日	昆虫館周辺で冬の昆虫の観察を行った。	63人
講 習 会	12月1日	カブトムシや様々な昆虫の標本づくり教室を実施した。	56人

(オ) 講演会その他催し物の開催

a 講座



名 称		時 期	内 容	参加者数等
虫 講 座 シ リ ー ズ	チ ョ ウ の は な し	4月27日	春の企画展「美しいチョウの世界」に合わせて、チョウの生態や特徴等を解説した。	23 人
	湿 地 の 昆 虫	6月16日	初夏の企画展「湿地の昆虫」に合わせて、湿地に生息する昆虫の生態や特徴等を解説した。	16 人
	標 本 の 作 り 方	8月4日	カブトムシ・クワガタムシほか、昆虫の標本の作り方と標本の意義について解説した。	34 人
	ナ ナ フ シ の は な し	10月19日	「ナナフシ展」の開催に合わせて、その生態や体のつくり等を詳しく解説した。	12 人
	カブト・クワガタの 標 本 の 作 り 方	12月8日	カブトムシ・クワガタムシの標本の作り方と標本の意義について解説した。	35 人
大人のための昆虫講座	カブト・クワガタ	8月11日	カブトムシ・クワガタムシの生態や暮らし等について詳しく掘り下げて解説した。	14 人
	ト ン ボ	11月24日	トンボの生態を解説するとともに、広島県にすむトンボについて詳しく解説した。	8 人
	ゲ ン ゴ ロ ウ	1月26日	ゲンゴロウの生態や野外での現状について詳しく解説した。	8 人

b コンクール

名 称	時 期	内 容	参加者数等
むしむし写真・ 動画コンテスト	(応募期間) 5月1日 ～10月31日	昆虫を題材とした写真・動画コンテストを実施し、優秀作品（入賞点数、写真18点、動画6点）を表彰した。	応募者数 写真 65人 動画 10人 応募点数 写真 156点 動画 17点
表 彰 式 記 念 講 演 会	3月29日	審査員を招聘して入賞者を対象に表彰式を実施した。併せて、審査員による記念講演会「フィールドにおける昆虫写真の撮影」を実施した。	32人

c 観察会



名 称	時 期	内 容	参加者数等
みどりとむし講座 (植物園・昆虫館 共同事業)	4～10月	植物公園と共同で開催し、植物と昆虫が深くかかわりあっていることを解説しながら観察会や講座を実施した。	合計 239人
花と虫さがし	4月28日	昆虫館周辺でチョウやハナバチなどの観察とそれらが集まる植物について解説した。	26人
カブトムシと クワガタムシ	7月28日	植物公園でカブトムシやクワガタムシの観察とそれらが集まる樹木について解説した。	140人
ドングリと虫さがし	10月12日	昆虫館周辺でどんぐりのなる植物とそれに関する昆虫について観察・解説した。	27人
アサギマダラ観察会	10月14日	植物公園でアサギマダラの観察とそれらが集まる花について解説した。	46人
虫 さ が し	5月19日 7月21日 9月14日	昆虫館周辺及び樹木園で、家族を対象に、昆虫の観察と名前調べを行った。	95人

d 昆虫教室その他催し物



名 称	時 期	内 容	参加者数等
飼 育 室 ツ ア ー	4月6日 5月18日 6月22日 10月13日 12月7日 1月18日 2月1日 2月22日 3月1日 3月2日	普段は公開していない裏側を公開し、飼育や生体の維持管理について解説した。	255人
ク イ ズ ラ リ ー	6月2日 1月5日	昆虫への興味と知識を深められるクイズラリーを実施した。	344人
昆虫館お仕事体験 (寄附者対象)	6月29日 7月14日 7月23日 10月19日	昆虫への理解を深めるため、餌やり、放蝶など昆虫の飼育について指導した。	11人
夏休み子ども昆虫相談	7月15日 ～8月31日	夏休みの自由研究の疑問点など、昆虫に関する相談を受けて助言、指導した。	13人
むしむしサマースクール	8月10日 8月17日	小学生を対象として、飼育や採集等、昆虫館のお仕事体験を実施した。	9人
ク リ ス マ ス 蜜 蝋 キャンドルづくり	12月15日	ミツバチの巣の原料「蜜蝋」を使ったクリスマス用のろうそくづくり体験教室を実施した。	28人
虫 タ ッ チ	12月21日 1月25日 2月15日 3月8日 3月15日	ヘラクレスオオカブトやハナカマキリ等、いろいろな昆虫と触れ合える体験イベントを実施した。	456人
ぱたぱたバタフライ	3月2日 3月16日	紙とストロー、竹ひごを材料に、はばたくオオゴマダラのおもちゃを作る工作教室を行った。その際、オオゴマダラがいる場所で作成したおもちゃを動かすと、オオゴマダラが集まってくるという特性について説明した。	65人
ク リ ッ プ バ ッ タ 選 手 権	3月8日 3月15日	クリップで作ったおもちゃのバッタを飛ばして飛距離を競うイベントを開催する。	38人
カブトムシクラブ	3月9日	カブトムシの飼育方法について解説するとともに、幼虫を配布した。	38人
森 の 音 楽 会	3月22日	サックス四重奏団を招き、自然に関係する曲を演奏する音楽会を開催した。	60人

(カ) 学校教育活動の受入れ



名 称	時 期	内 容	参加者数等
自然体験学習の受入れ	4～7月 9～12月 2～3月	幼稚園、保育園や小・中学校等が行う自然体験学習を受け入れ、昆虫の観察やふれあい体験を行った。	3,506人
職場体験の受入れ	2月	中学校の職場体験を受け入れ、指導した。	1人

(キ) 企画展その他展示会の開催



名 称	時 期	内 容
ひろこんぷち展示	通 年	「甲虫」「トンボ」「セミ」「マダラチョウ」「水生昆虫」「沖縄の昆虫」など、2カ月おきに標本等を展示する小コーナーを開設した。
春の企画展 「美しいチョウの世界」	4月20日 ～5月6日	世界の美しいチョウの標本や幼虫などの生体、模型等を展示し、生態や特徴、その魅力を詳しく解説した。
初夏の企画展 「湿地の昆虫」	6月8日 ～6月23日	ヒョウモンモドキやタガメなど、湿地やその周りで暮らす昆虫の標本や生体を展示するとともに、詳しく解説した。
夏の企画展「世界の カブト・クワガタ2024」	7月13日 ～8月25日	世界のカブトムシ・クワガタムシの生体や標本を展示するとともに、生態等を詳しく解説した。また、雌雄モザイクのクワガタムシ2種を展示した。
秋の企画展 「秋の鳴く虫」	9月14日 ～9月23日	暗くした会場で、美しい声で鳴く生きた秋の虫を展示解説し、来館者に癒しの空間を提供した。
「ナナフシ展」	10月5日 ～11月4日	擬態の王様で不思議な生態を持つナナフシについて、生体や標本等を展示し、徹底解説した。
むしむし写真・動画コンテスト 優秀作品展	1月11日 ～3月30日	「むしむし写真・動画コンテスト」の入賞作品を展示した。

(ク) 広報普及



名 称	時 期	内 容	件数等
マスコミによる広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社、市広報紙課などを通じて、昆虫館の展示や催し物などの広報を行った。	新 聞 3件 テレビ 9件 ラジオ 3件 市民と市政 12件 計27件
保育園、幼稚園、小学校、 その他の教育施設への 学習利用の促進	通 年	保育園、幼稚園、小学校を訪問時に、昆虫館で実施している社会教育活動を紹介した。	50件

名 称	時 期	内 容	件数等
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	アクセス数 64,107件
Facebookによる広報	通 年	Facebookにより、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供した。	投稿件数 203件
X(旧Twitter)による広報	通 年	X(旧Twitter)により、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供した。	投稿件数 228件
Instagramによる広報	通 年	Instagramにより、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供した。	投稿件数 154件
オリジナルグッズの配布	通 年	各イベントに合わせ、昆虫館オリジナルシールを配布し、昆虫館をPRした。	昆虫シール 200枚
マツダスタジアムにおけるPR活動	6月4日	マツダスタジアムにおいて3園館共同で「みどり生きものきょうしつ」を開催した。標本展示とグッズの販売を行い、昆虫館をPRした。	—
有料の広告媒体による広報	7月	森林公園と共同で、イベントチラシの新聞折込を行った。	100,000枚

(ケ) 出版物の配布



名 称	内 容	配布部数
「標本の作り方」 「飼ってみよう」	身近な昆虫の飼い方や標本の作り方を分かりやすく解説したリーフレットを配布し、昆虫に関する知識の普及や昆虫館事業の周知を図った。	400部 400部
「昆虫館News」	昆虫館の魅力を市民に発信するため、飼育展示の裏話やイベント情報を掲載した冊子を発行、配布した。	4,000部

(コ) 昆虫に関する相談



名 称	時 期	内 容	件数
昆 虫 相 談	通 年	昆虫の飼育方法や生態など昆虫に関する相談等を受けて助言、指導した。	227件

(2) 収益事業等

① 売店の運営など〔収 1 事業〕

ア 安佐動物公園等における売店の運営など

指定管理者として指定された次の施設の利用者の利便を図るため、売店、食堂などの経営を行った。

営 業 場 所	内 容
安 佐 動 物 公 園	売店(2か所)における土産物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 ベビーカーの賃貸 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 LINE スタンプの販売
植 物 公 園	売店(1か所)における土産物などの販売 売店(1か所)における植物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 臨時売店(3か所)における植物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 観光望遠鏡の賃貸
昆 虫 館	売店(1か所)における土産物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸
中央公園(ファミリープール)	売店(1か所)における飲食物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 浮輪の賃貸

イ 公益目的事業への繰入れ

緑のまちづくり事業、動物公園事業、植物公園事業、昆虫館事業等の推進を図るため、売店の運営等で得た収益を公益目的事業に繰り入れた。

② 公園及び公園施設の管理運営〔他1事業〕

広島市から指定管理者として指定（指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日）を受けたファミリープールの入園料などの収受及び管理運営、中央公園の維持管理、並びに安佐動物公園、植物公園の駐車料の収受及び駐車場の管理運営を行い、入園者及び利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

ファミリープールの運営では入園者に安心して利用していただける施設であるよう、救急・防犯・感染症対策等の入園者の安全や、落とし物の保管・食品衛生・速やかな迷子案内等のサービス向上に努め、常に満足いただけるように、消防署・警察署・報道機関等の関係機関と連携を密にしながら円滑な運営に取り組んだ。なお、台風接近により8月29日～31日を臨時休園した。

ア 中央公園（ファミリープールを含む）の管理運営

(ア) 入園料などの収納事務

ファミリープール（利用料金制）

【入園状況】

区 分					入 園 者 数	使 用 料
有 料 入 園 者	個 人	大 人	1 8 歳以上 6 5 歳未満	790 円	34, 629 人	27, 356, 910 円
			6 5 歳以上	340 円	1, 012 人	344, 080 円
		小 人	小・中・高校生及び18歳未満	340 円	38, 529 人	13, 099, 860 円
	団 体	大 人	1 8 歳以上 6 5 歳未満	650 円	44 人	28, 600 円
			6 5 歳以上	270 円	0 人	0 円
		小 人	小・中・高校生及び18歳未満	270 円	223 人	60, 210 円
	小 計				74, 437 人	40, 889, 660 円
減 免 等 入 園 者（ 障 害 者 、 そ の 他 ）					25, 743 人	－円
合 計					100, 180 人	40, 889, 660 円

【コインロッカー利用状況】

区 分	利 用 回 数	使 用 料
ロッカー利用（100円）	36,729 回	3,672,900 円

(イ) 利用促進



名 称	時 期	内 容	参加者数等
ファミリープール ポイントカードの発行	7月1日 ～9月1日	所定の利用回数に達した場合、次回の入園料を免除するポイントカードを発行し、リピーターの確保を図った。	配布枚数 35,700 枚 利用枚数 1,041 枚

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ファミリープール 休 園 日 の 開 園	8月6日	開園期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	入園者数 1,377人
ファミリープール開園 期 間 の 延 長	9月1日	開園期間を延長し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	入園者数 4,559人

(ウ) 施設の維持管理・園内サービス



名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、園内の清掃・警備などを行った。また、管理棟などの建物、機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	利用者が快適に施設を利用できるよう、案内標識や園内放送などにより利用案内を行った。
緊 急 時 な ど の 対 応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
ファミリープール入園者への涼感サービスの提供	7月1日 ～9月1日	暑さ対策として、入園ゲート前にミストファンを置き、入園者が涼しさを感じられるサービスを提供した。

イ 安佐動物公園及び植物公園の駐車場の管理運営

(ア) 駐車料の収受（利用料金制）

a 安佐動物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車等 (1,400円)	918台	1,285,200円
普通自動車等 (450円)	79,893台	35,951,850円
減 免 利 用	2,748台	－円
合 計	83,559台	37,237,050円

b 植物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車等 (1,400円)	141台	197,400円
普通自動車等 (450円)	40,214台	18,096,300円
減 免 利 用	1,898台	－円
合 計	42,253台	18,293,700円

(イ) 施設の維持管理



名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	利用者に安心・安全な利用環境を提供するため、駐車場内及び進入路における交通誘導や警備などを行った。また、立体駐車場などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。

ウ 中央公園（ファミリープールを含む）における教育・普及

(ア) 水泳教室その他催し物の開催



名 称	時 期	内 容	参加者数等
フ ァ ミ リ ー プ ー ル 水 泳 教 室	7月22日 7月29日 8月5日	親子を対象に、泳ぎ方を指導し、習得する場を提供した。また、救助する方法、救助される方法について実技を行った。	30 組 61 人
中 央 公 園 樹 名 板 づ く り	7月14日	中央公園樹木の樹名板の作製を行う子どもを募り、作業を通じて樹木について楽しく学ぶ機会を提供した。また、この手作りの樹名板により公園利用者の関心を引き、樹木への理解や知識を深めた。	52 人 (樹名板65枚設置)

(イ) 広報普及



名 称	時 期	内 容	件 数 等
マスコミによる広報	通 年	テレビ局・出版社などを通じて、催し物などの広報を行った。	テレビ 20 件 雑誌等 6 件
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 101,314 件
X (旧 Twitter) による広報	通 年	X (旧Twitter) により、施設の紹介や施設利用者数などの情報を提供した。	投稿件数 246 件

7 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。

決 算 報 告 書

第2 決算報告書

令和6年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	263,609,076	251,641,102	11,967,974
未収金	8,440,652	5,638,007	2,802,645
未収消費税等	0	1,266,090	△ 1,266,090
預け金	41,863	6,961	34,902
商品	10,247,217	10,139,088	108,129
流動資産合計	282,338,808	268,691,248	13,647,560
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	112,000,000	112,000,000	0
基本財産合計	112,000,000	112,000,000	0
(2) 特定資産			
緑化基金積立資産	413,634,328	413,634,328	0
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	3,000,000	0
退職給付引当資産	41,029,485	38,880,722	2,148,763
減価償却引当資産	29,580,090	28,920,385	659,705
備品等購入資金積立資産	1,452,606	1,452,606	0
みどり生きものサポーター募金積立資産	4,014,883	3,821,611	193,272
クロサイ導入・繁殖事業資金積立資産	30,000,000	15,000,000	15,000,000
動物福祉充実事業資金	22,997,137	0	22,997,137
特定資産合計	545,708,529	504,709,652	40,998,877
(3) その他固定資産			
建物	1,490,000	1,490,000	0
建物減価償却累計額	△ 1,489,998	△ 1,489,998	0
構築物	2,764,650	2,764,650	0
構築物減価償却累計額	△ 2,518,889	△ 2,334,580	△ 184,309
車両運搬具	4,283,207	4,283,207	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 4,283,202	△ 4,283,202	0
器具備品	28,216,134	27,092,393	1,123,741
器具備品減価償却累計額	△ 24,365,547	△ 23,889,956	△ 475,591
電話加入権	74,984	74,984	0
投資有価証券	32,084	32,084	0
その他固定資産合計	4,203,423	3,739,582	463,841
固定資産合計	661,911,952	620,449,234	41,462,718
資産合計	944,250,760	889,140,482	55,110,278

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	89,962,753	66,336,805	23,625,948
未払消費税等	16,875,500	12,549,690	4,325,810
未払法人税等	221,000	221,000	0
前受金	38,000	40,000	△ 2,000
買掛金	6,108,705	5,194,677	914,028
預り金	11,675,359	10,552,104	1,123,255
賞与引当金	40,756,022	38,981,267	1,774,755
流動負債合計	165,637,339	133,875,543	31,761,796
2. 固定負債			
退職給付引当金	576,378,130	549,577,280	26,800,850
長期預り金	948,150	948,150	0
固定負債合計	577,326,280	550,525,430	26,800,850
負債合計	742,963,619	684,400,973	58,562,646
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
広島市出資金	503,600,000	503,600,000	0
寄付金	57,012,020	18,821,611	38,190,409
指定正味財産合計	560,612,020	522,421,611	38,190,409
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(460,612,020)	(422,421,611)	(38,190,409)
2. 一般正味財産	△ 359,324,879	△ 317,682,102	△ 41,642,777
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(44,067,024)	(43,407,319)	(659,705)
正味財産合計	201,287,141	204,739,509	△ 3,452,368
負債及び正味財産合計	944,250,760	889,140,482	55,110,278

2 貸借対照表内訳表

貸 借 対 照 表 内 訳 表

令和 7 年 3 月 3 1 日 現在

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	141,765,282	76,532,420	45,311,374		263,609,076
未収金	5,992,829	2,447,823			8,440,652
未収消費税等	314,129			△ 314,129	0
預け金	41,863				41,863
商品		10,247,217			10,247,217
他会計短期貸付金		30,000,000		△ 30,000,000	0
流動資産合計	148,114,103	119,227,460	45,311,374	△ 30,314,129	282,338,808
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	112,000,000				112,000,000
基本財産合計	112,000,000				112,000,000
(2) 特定資産					
緑化基金積立資産	413,634,328				413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000				3,000,000
退職給付引当資産		41,029,485			41,029,485
減価償却引当資産	1,703,309	27,876,781			29,580,090
備品等購入資金積立資産		1,452,606			1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	4,014,883				4,014,883
クロサイ導入・繁殖事業資金積立資産	30,000,000				30,000,000
動物福祉充実事業資金	22,997,137				22,997,137
特定資産合計	475,349,657	70,358,872			545,708,529
(3) その他固定資産					
建物		1,490,000			1,490,000
建物減価償却累計額		△ 1,489,998			△ 1,489,998
構築物		2,764,650			2,764,650
構築物減価償却累計額		△ 2,518,889			△ 2,518,889
車両運搬具	1,703,310	2,579,897			4,283,207
車両運搬具減価償却累計額	△ 1,703,309	△ 2,579,893			△ 4,283,202
器具備品	3,983,420	24,232,714			28,216,134
器具備品減価償却累計額	△ 3,077,351	△ 21,288,196			△ 24,365,547
電話加入権		74,984			74,984
投資有価証券	32,084				32,084
その他固定資産合計	938,154	3,265,269			4,203,423
固定資産合計	588,287,811	73,624,141			661,911,952
資産合計	736,401,914	192,851,601	45,311,374	△ 30,314,129	944,250,760
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	49,002,209	11,847,074	29,113,470		89,962,753
未払消費税等	14,061,688	3,127,941		△ 314,129	16,875,500
未払法人税等		221,000			221,000
前受金	38,000				38,000
買掛金		6,108,705			6,108,705
預り金	3,298,483	618,180	7,758,696		11,675,359
他会計短期借入金	30,000,000			△ 30,000,000	0
貸与引当金	34,772,323	3,134,744	2,848,955		40,756,022
流動負債合計	131,172,703	25,057,644	39,721,121	△ 30,314,129	165,637,339
2. 固定負債					
退職給付引当金	476,216,523	41,029,485	59,132,122		576,378,130
長期預り金	438,000	510,150			948,150
固定負債合計	476,654,523	41,539,635	59,132,122		577,326,280
負債合計	607,827,226	66,597,279	98,853,243	△ 30,314,129	742,963,619
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
広島市出資金	503,600,000				503,600,000
寄付金	57,012,020				57,012,020
指定正味財産合計	560,612,020				560,612,020
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)				(100,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(460,612,020)				(460,612,020)
2. 一般正味財産	△ 432,037,332	126,254,322	△ 53,541,869		△ 359,324,879
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)				(12,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(14,737,637)	(29,329,387)			(44,067,024)
正味財産合計	128,574,688	126,254,322	△ 53,541,869		201,287,141
負債及び正味財産合計	736,401,914	192,851,601	45,311,374	△ 30,314,129	944,250,760

3 正味財産増減計算書

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	136,712	136,712	0
基本財産受取利息振替額	1,139,272	1,139,272	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	125,710	125,710	0
緑化基金受取利息振替額	3,906,162	3,906,162	0
協会賞基金受取利息	22,786	22,786	0
協会賞基金受取利息振替額	11,392	11,392	0
受取会費			
会員受取会費	411,500	449,500	△ 38,000
事業収益			
利用料金収益	218,958,030	224,774,450	△ 5,816,420
指定管理料収益	1,182,994,539	1,140,415,907	42,578,632
維持補修業務等受託収益	966,740	1,898,995	△ 932,255
保護増殖業務受託収益	203,500	183,700	19,800
生息調査業務受託収益	141,900	181,535	△ 39,635
保護動物管理料収益	333,366	256,901	76,465
売店等売上収益	134,268,829	135,512,129	△ 1,243,300
売店等事業収益	30,016,826	26,039,571	3,977,255
実費徴収金収益	3,583,206	3,345,948	237,258
手数料収益	107,799	48,039	59,760
使用料収益	2,502,935	2,515,250	△ 12,315
受取補助金等			
受取協会運営等補助金	107,547,604	85,103,275	22,444,329
受取負担金			
受取負担金	1,104,400	1,162,000	△ 57,600
受取寄付金			
受取寄付金	3,692,660	410,230	3,282,430
受取寄付金振替額	8,368,479	0	8,368,479
受取協賛金			
受取協賛金	1,000,000	1,000,000	0
雑収益			
受取利息	366	366	0
雑収益	1,818,993	2,487,435	△ 668,442
経常収益計	1,703,363,706	1,631,127,265	72,236,441

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費			
給料	267,058,583	257,858,786	9,199,797
諸手当	200,555,042	197,981,183	2,573,859
報酬	123,444,213	98,657,417	24,786,796
賞与引当金繰入額	37,907,067	36,147,207	1,759,860
災害補償費	247,422	0	247,422
賃金	90,518,599	85,847,270	4,671,329
退職給付費用	23,771,417	25,749,137	△ 1,977,720
福利厚生費	113,711,571	108,261,908	5,449,663
仕入費	61,334,254	61,788,052	△ 453,798
食糧費	161,005	137,200	23,805
諸謝金	3,342,420	3,604,070	△ 261,650
諸会費	1,032,632	1,044,298	△ 11,666
報償費	903,485	434,815	468,670
旅費	2,358,580	3,231,326	△ 872,746
通信運搬費	2,832,316	2,097,633	734,683
減価償却費	1,171,031	1,313,628	△ 142,597
消耗什器備品費	849,694	163,300	686,394
消耗品費	95,924,510	104,555,504	△ 8,630,994
器具備品購入費	3,661,240	223,925	3,437,315
原材料費	850,746	963,238	△ 112,492
委託料	239,430,662	231,980,201	7,450,461
修繕費	25,128,019	39,052,818	△ 13,924,799
燃料費	37,867,744	35,945,371	1,922,373
光熱水費	185,665,403	179,906,079	5,759,324
支払手数料	9,101,495	1,890,256	7,211,239
使用料及び賃借料	13,619,509	13,474,380	145,129
保険料	2,714,952	2,112,235	602,717
租税公課	80,041,200	75,807,300	4,233,900
支払負担金	1,629,049	1,707,008	△ 77,959
支払補助金	875,100	968,800	△ 93,700
広報費	2,945,604	2,876,081	69,523
雑費	2,628,705	309,113	2,319,592
固定資産除却損	3	1	2
棚卸減耗損	3,210	17,601	△ 14,391
棚卸資産廃棄損	64,777	73,279	△ 8,502

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料	13,677,600	15,057,272	△ 1,379,672
諸手当	6,955,344	8,308,662	△ 1,353,318
報酬	29,777,478	22,676,211	7,101,267
賞与引当金繰入額	2,848,955	2,834,060	14,895
賃金	3,547,530	5,631,170	△ 2,083,640
退職給付費用	26,074,190	8,749,976	17,324,214
福利厚生費	9,201,828	8,223,736	978,092
会議費	65,113	63,166	1,947
諸謝金	440,000	418,000	22,000
諸会費	259,100	255,100	4,000
報償費	2,024	2,024	0
旅費	55,740	0	55,740
通信運搬費	894,259	933,730	△ 39,471
消耗品費	1,035,000	897,756	137,244
委託料	322,864	228,187	94,677
支払手数料	114,549	87,973	26,576
使用料及び賃借料	15,163,534	12,967,693	2,195,841
租税公課	200	0	200
支払負担金	947,458	783,660	163,798
支払協賛金	40,000	40,000	0
雑費	11,458	0	11,458
経常費用計	1,744,785,483	1,664,338,796	80,446,687
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 41,421,777	△ 33,211,531	△ 8,210,246
当期経常増減額	△ 41,421,777	△ 33,211,531	△ 8,210,246
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度修正益			
過年度売店等事業収益修正益	0	4,329,961	△ 4,329,961
経常外収益計	0	4,329,961	△ 4,329,961
(2) 経常外費用			
過年度修正損			
過年度売店等事業収益修正損	0	4,329,961	△ 4,329,961
経常外費用計	0	4,329,961	△ 4,329,961
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 41,421,777	△ 33,211,531	△ 8,210,246
法人税、住民税及び事業税	221,000	221,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 41,642,777	△ 33,432,531	△ 8,210,246
一般正味財産期首残高	△ 317,682,102	△ 284,249,571	△ 33,432,531
一般正味財産期末残高	△ 359,324,879	△ 317,682,102	△ 41,642,777

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,139,272	1,139,272	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	3,906,162	3,906,162	0
協会賞基金受取利息	11,392	11,392	0
受取寄付金			
受取寄付金	32,282,888	15,790,093	16,492,795
受取支援金			
受取支援金	14,276,000	0	14,276,000
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 13,425,305	△ 5,056,826	△ 8,368,479
当期指定正味財産増減額	38,190,409	15,790,093	22,400,316
指定正味財産期首残高	522,421,611	506,631,518	15,790,093
指定正味財産期末残高	560,612,020	522,421,611	38,190,409
III 正味財産期末残高	201,287,141	204,739,509	△ 3,452,368

4 正味財産増減計算書内訳表

正味財産増減計算書内訳表
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息		136,712		136,712						136,712
基本財産受取利息振替額	113,928	1,025,344		1,139,272						1,139,272
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	125,710			125,710						125,710
緑化基金受取利息振替額	3,906,162			3,906,162						3,906,162
協会賞基金受取利息	22,786			22,786						22,786
協会賞基金受取利息振替額	11,392			11,392						11,392
受取会費										
会員受取会費		411,500		411,500						411,500
事業収益										
利用料金収益		118,864,720		118,864,720		100,093,310	100,093,310			218,958,030
指定管理料収益		1,083,701,975		1,083,701,975		99,292,564	99,292,564			1,182,994,539
維持補修業務等受託収益		966,740		966,740						966,740
保護増殖業務受託収益		203,500		203,500						203,500
生息調査業務受託収益		141,900		141,900						141,900
保護動物管理料収益		333,366		333,366						333,366
売店等売上収益					134,268,829		134,268,829			134,268,829
売店等事業収益					29,798,415	218,411	30,016,826			30,016,826
実費徴収金収益					3,583,206		3,583,206			3,583,206
手数料収益					107,799		107,799			107,799
使用料収益					2,502,935		2,502,935			2,502,935
受取補助金等										
受取協会運営等補助金								107,547,604		107,547,604
受取負担金										
受取負担金	262,000	842,400		1,104,400						1,104,400
受取寄付金										
受取寄付金		3,692,660		3,692,660						3,692,660
受取寄付金振替額		8,368,479		8,368,479						8,368,479
受取協賛金										
受取協賛金		1,000,000		1,000,000						1,000,000
雑収益										
受取利息	366			366						366
雑収益	163,943	321,399	18,292	503,634	87,911	266,577	354,488	1,275,000	△ 314,129	1,818,993
経常収益計	4,606,287	1,220,010,695	18,292	1,224,635,274	170,349,095	199,870,862	370,219,957	108,822,604	△ 314,129	1,703,363,706

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
(2) 経常費用										
事業費										
給料		253,737,383		253,737,383	13,321,200		13,321,200			267,058,583
諸手当		187,268,367	5,333,862	192,602,229	7,050,773	902,040	7,952,813			200,555,042
報酬	2,179,143	100,489,307		102,668,450	15,712,226	5,063,537	20,775,763			123,444,213
賞与引当金繰入額		34,082,337	689,986	34,772,323	2,670,616	464,128	3,134,744			37,907,067
災害補償費		247,422		247,422						247,422
賃金		66,276,041		66,276,041	15,038,191	9,204,367	24,242,558			90,518,599
退職給付費用		21,406,654		21,406,654	2,364,763		2,364,763			23,771,417
福利厚生費	327,604	100,684,512	3,369,662	104,381,778	6,397,442	2,932,351	9,329,793			113,711,571
仕入費					61,334,254		61,334,254			61,334,254
食糧費		161,005		161,005						161,005
諸謝金	677,350	2,640,270		3,317,620		24,800	24,800			3,342,420
諸会費		966,632		966,632	66,000		66,000			1,032,632
報償費	60,000	843,485		903,485						903,485
旅費		2,254,820		2,254,820	103,760		103,760			2,358,580
通信運搬費	71,635	2,676,437		2,748,072	18,602	65,642	84,244			2,832,316
減価償却費					1,171,031		1,171,031			1,171,031
消耗什器備品費		460,460		460,460	389,234		389,234			849,694
消耗品費	1,418,824	91,443,801	24,000	92,886,625	2,015,799	1,022,086	3,037,885			95,924,510
器具備品購入費		3,333,440		3,333,440		327,800	327,800			3,661,240
原材料費		850,746		850,746						850,746
委託料		129,397,140		129,397,140	2,214,843	107,818,679	110,033,522			239,430,662
修繕費		22,250,115	59,213	22,309,328	311,762	2,506,929	2,818,691			25,128,019
燃料費		37,784,578	29,000	37,813,578		54,166	54,166			37,867,744
光熱水費		142,764,056		142,764,056	7,565,570	35,335,777	42,901,347			185,665,403
支払手数料	27,416	8,585,343	2,300	8,615,059	269,558	216,878	486,436			9,101,495
使用料及び賃借料		8,999,852	420	9,000,272	3,644,307	974,930	4,619,237			13,619,509
保険料		1,491,979	49,790	1,541,769	301,401	871,782	1,173,183			2,714,952
租税公課		67,187,098	72,300	67,259,398	8,360,194	4,735,737	13,095,931		△ 314,129	80,041,200
支払負担金	1,100,000	491,906		1,591,906	37,143		37,143			1,629,049
支払補助金	875,100			875,100						875,100
広報費		2,900,445		2,900,445	45,159		45,159			2,945,604
雑費		1,609,292		1,609,292	897,570	121,843	1,019,413			2,628,705
固定資産除却損				0	3		3			3
棚卸減耗損					3,210		3,210			3,210
棚卸資産廃棄損					64,777		64,777			64,777

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
管理費										
給料								13,677,600		13,677,600
諸手当								6,955,344		6,955,344
報酬								29,777,478		29,777,478
賞与引当金繰入額								2,848,955		2,848,955
賃金								3,547,530		3,547,530
退職給付費用								26,074,190		26,074,190
福利厚生費								9,201,828		9,201,828
会議費								65,113		65,113
諸謝金								440,000		440,000
諸会費								259,100		259,100
報償費								2,024		2,024
旅費								55,740		55,740
通信運搬費								894,259		894,259
消耗品費								1,035,000		1,035,000
委託料								322,864		322,864
支払手数料								114,549		114,549
使用料及び賃借料								15,163,534		15,163,534
租税公課								200		200
支払負担金								947,458		947,458
支払協賛金								40,000		40,000
雑費								11,458		11,458
経常費用計	6,737,072	1,293,284,923	9,630,533	1,309,652,528	151,369,388	172,643,472	324,012,860	111,434,224	△ 314,129	1,744,785,483
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,130,785	△ 73,274,228	△ 9,612,241	△ 85,017,254	18,979,707	27,227,390	46,207,097	△ 2,611,620		△ 41,421,777
当期経常増減額	△ 2,130,785	△ 73,274,228	△ 9,612,241	△ 85,017,254	18,979,707	27,227,390	46,207,097	△ 2,611,620		△ 41,421,777
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,130,785	△ 73,274,228	△ 9,612,241	△ 85,017,254	18,979,707	27,227,390	46,207,097	△ 2,611,620		△ 41,421,777
他会計振替額	1,173,152	25,452,360	9,588,929	36,214,441	△ 12,187,969	△ 24,026,472	△ 36,214,441	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 957,633	△ 47,821,868	△ 23,312	△ 48,802,813	6,791,738	3,200,918	9,992,656	△ 2,611,620		△ 41,421,777
法人税、住民税及び事業税					221,000		221,000			221,000
当期一般正味財産増減額	△ 957,633	△ 47,821,868	△ 23,312	△ 48,802,813	6,570,738	3,200,918	9,771,656	△ 2,611,620		△ 41,642,777
一般正味財産期首残高	62,980,964	△ 448,202,154	1,986,671	△ 383,234,519	120,561,514	△ 4,078,848	116,482,666	△ 50,930,249		△ 317,682,102
一般正味財産期末残高	62,023,331	△ 496,024,022	1,963,359	△ 432,037,332	127,132,252	△ 877,930	126,254,322	△ 53,541,869		△ 359,324,879

(単位:円)										
科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	113,928	1,025,344		1,139,272						1,139,272
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	3,906,162			3,906,162						3,906,162
協会賞基金受取利息	11,392			11,392						11,392
受取寄付金										
受取寄付金		32,282,888		32,282,888						32,282,888
受取支援金										
受取支援金		14,276,000		14,276,000						14,276,000
一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額	△ 4,031,482	△ 9,393,823		△ 13,425,305						△ 13,425,305
当期指定正味財産増減額		38,190,409		38,190,409						38,190,409
指定正味財産期首残高	413,600,000	108,821,611		522,421,611						522,421,611
指定正味財産期末残高	413,600,000	147,012,020		560,612,020						560,612,020
Ⅲ 正味財産期末残高	475,623,331	△ 349,012,002	1,963,359	128,574,688	127,132,252	△ 877,930	126,254,322	△ 53,541,869		201,287,141

5 財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・取得価格による原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品・・・・・・・・・・先入先出法による原価法によっている。（時価が取得価額よりも下落した場合には、時価をもって貸借対照表価額とする。）
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
貸倒引当金・・・・・・債権については回収可能性に問題がないため、貸倒引当金は計上していない。
賞与引当金・・・・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。
退職給付引当金・・・・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	—	—	112,000,000
小 計	112,000,000	—	—	112,000,000
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	—	—	413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	—	—	3,000,000
退職給付引当資産	38,880,722	2,148,763	—	41,029,485
減価償却引当資産	28,920,385	1,170,836	511,131	29,580,090
備品等購入資金積立資産	1,452,606	—	—	1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	3,821,611	193,272	—	4,014,883
クロサイ導入・繁殖事業資金積立資産	15,000,000	15,000,000	—	30,000,000
動物福祉充実事業資金	—	22,997,137	—	22,997,137
小 計	504,709,652	41,510,008	511,131	545,708,529
合 計	616,709,652	41,510,008	511,131	657,708,529

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
小 計	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	(402,600,000)	(11,034,328)	(—)
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	(1,000,000)	(2,000,000)	(—)
退職給付引当資産	41,029,485	(—)	(—)	(41,029,485)
減価償却引当資産	29,580,090	(0)	(29,580,090)	(—)
備品等購入資金積立資産	1,452,606	(0)	(1,452,606)	(—)
みどり生きものサポーター募金積立資産	4,014,883	(4,014,883)	(0)	(—)
クロサイ導入・繁殖事業資金積立資産	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(—)
動物福祉充実事業資金	22,997,137	(22,997,137)	(0)	(—)
小 計	545,708,529	(460,612,020)	(44,067,024)	(41,029,485)
合 計	657,708,529	(560,612,020)	(56,067,024)	(41,029,485)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第182回利付国債	328,666,412	291,280,280	△ 37,386,132
第483回大阪府公募公債 (SMBC)	100,000,000	95,480,000	△ 4,520,000
第483回大阪府公募公債 (岡三)	100,000,000	95,450,000	△ 4,550,000
合 計	528,666,412	482,210,280	△ 46,456,132

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 受取協会運営等補助金 (広島市補助金)	広島市	0	107,547,604	107,547,604	0	—
合 計		0	107,547,604	107,547,604	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	1,139,272
特定資産受取利息の振替額	3,917,554
受取寄付金の振替額	8,368,479
合 計	13,425,305

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属 性	法 人 等 の 名 称	住 所	資 産 総 額	事 業 の 内 容 又 は 職 業	議 決 権 の 所 有 割 合	関 係 内 容		取引の内容	取引金額	科目	期末 残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
当 法 人 を 支 配 す る 法 人	広 島 市	広 島 市 中 区	—	—	—	理事14名中 市職員2名 元市職員2名	市公共事業の受託	広島市の公園及び公園施設の指定管理	1,182,994,539	—	0
								広島市の公園及び公園施設の維持補修等	1,108,640	—	0
							協会事業に対する補助	協会運営事業に対する補助	107,547,604	—	0

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

剰余金が生じた場合において、指定管理については指定管理期間満了時に精算を行い返還することとし、受託及び補助については毎年度精算を行い返還することとしている。

6 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	38,981,267	40,756,022	38,981,267	—	40,756,022
退職給付引当金	549,577,280	49,389,607	22,588,757	—	576,378,130

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	11,321,057	
	預金	普通預金	運転資金として		
		広島銀行本店営業部		115,758,355	
		広島銀行安支店		37,368,939	
		広島銀行五日市八幡支店		67,790,287	
		広島銀行福田支店		31,234,624	
		ゆうちょ銀行日浦郵便局		135,814	
	未収金	売店業務等委託先業者ほか	販売手数料等	8,440,652	
預け金	プリペードカード	車両の給油資金	41,863		
商品	オリジナルグッズ他	来園者等への販売用	10,247,217		
流動資産合計				282,338,808	
(固定資産)					
	基本財産	投資有価証券	第182回利付国債	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益のうち91.1％は動物公園等の運営事業、8.9％は緑のまちづくり事業の財源として使用している。	112,000,000
特定資産	緑化基金積立資産	投資有価証券	第182回利付国債	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	213,634,328
			第483回大阪府公募公債	同上	200,000,000
	広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	投資有価証券	第182回利付国債	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	3,000,000
	退職給付引当資産	普通預金	広島銀行本店営業部	収益事業従事職員に対する退職金の支払いに備え管理している預金	38,880,722
			広島銀行安支店	同上	2,148,763
	減価償却引当資産	普通預金	広島銀行本店営業部	器具備品等の更新に備え管理している預金	28,430,178
			広島銀行安支店	同上	642,772
			広島銀行五日市八幡支店	同上	408,140
			広島銀行福田支店	同上	99,000
	備品等購入資金積立資産	普通預金	広島銀行本店営業部	器具備品等の取得に備え管理している預金	1,452,606
	みどり生きものサポーター募金積立資産	普通預金	広島銀行安支店	魅力ある施設づくりのための寄付金を管理している預金	3,452,812
			広島銀行五日市八幡支店	同上	256,453
			広島銀行福田支店	同上	305,618
	クロサイ導入・繁殖事業資金積立資産	普通預金	広島銀行安支店	クロサイ導入・繁殖のための特定費用準備資金を管理している預金	30,000,000
	動物福祉充実事業資金	普通預金	広島銀行安支店	動物福祉充実のための寄付金を管理している預金	22,997,137
その他固定資産					
	建物	植物公園 温室及び倉庫 62.3㎡		収益事業における販売用植物の展示・保管用	2
	構築物	安佐動物公園 仮設売店 9.7㎡		収益事業における飲食物販売用	245,761
	車両運搬具	普通乗用車1台		公益目的保有財産であり、公益目的事業共通の用に供している。	1
		小型貨物等2台、スクーター2台		収益事業用車両運搬具	4
	器具備品	デジタルカメラ等21点		公益目的保有財産であり、動物公園等の運営事業の用に供している。	906,069
		冷蔵庫等83点		収益事業用器具備品	2,944,518
	電話加入権	安佐動物公園 管理事務所		収益事業に係る電話回線（1回線）	74,984
	投資有価証券	第182回利付国債		満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業等の財源として使用している。	32,084
固定資産合計					661,911,952
資産合計					944,250,760

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	維持管理業務等委託先業者ほか	委託料等の未払額	89,962,753
	未払消費税等	広島東税務署	令和6年度消費税及び地方消費税の未払額	16,875,500
	未払法人税等	広島東税務署	令和6年度法人税等の未払額	221,000
	前受金	広島動物愛好会等会員	令和7年度分前受会費	38,000
	買掛金	商品仕入先業者	売店等における商品仕入れの買掛額	6,108,705
	預り金	広島東税務署、厚生労働省年金局、広島市等	源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険料、住民税等	11,675,359
	賞与引当金	職員に対するもの	職員114名に対する賞与の支払いに備えたもの	40,756,022
流動負債合計				165,637,339
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員72名に対する退職金の支払いに備えたもの	576,378,130
	長期預り金	維持管理業務等委託先業者	契約保証金	948,150
固定負債合計				577,326,280
負債合計				742,963,619
正味財産				201,287,141

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 1 6 日

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
理 事 長 荒 瀬 尚 美 様

公益財団法人広島市みどり生きもの協会

監 事 神 田 敏 治

公益財団法人広島市みどり生きもの協会

監 事 秋 信 隆 雄

私たち監事は、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

